臺灣日日新報
夕刊
七月三十日
發行兼編輯人　佐々木
臺北市[illegible]
發行所　臺灣日日新報社

福壽[illegible]　[illegible]

秩父御名代宮さま明春四月に御渡英

英皇帝の戴冠式に

【東京三十日發】明春五月英京ロンドンに行はせられるエドワード八世陛下の戴冠式には畏くも天皇陛下の御名代として秩父宮殿下が御渡英御親臨遊ばされる旨に承はるが、御名代御差遣の御事御正式に御決定の上は御名代宮殿下には妃殿下御同伴にて明年四月頃御西島立ち遊ばされ、海路はるけく御華やかしくも重き晴れの御任務に就かせられる御事と拜察される、宮內、外務兩當局では吉田駐英大使と密接な連絡の下に着々御準備を進め參らせてゐるが既に晴れの御使命を帶びさせられる御名代宮殿下の御乘船には日本郵船靖國丸を當させられる事に御內定あらせられたと承はる、日本郵船會社では謹んで御沙汰を御待ち申し上げてゐる模樣であるが、靖國丸は近く歐洲航路に開通する國際電話に次いで歐洲航路第一船として無線電話新設の計畫もあるのでこの際急速これを具體化して御乘船迄には開通の運びにする計畫も進められてゐる、斯くて靖國丸は四月頃横濱を出帆、五月上旬マルセイユに入港の上御名代宮殿下御一行は陸路ロンドンに赴かせられるものと拜察される

先手を打つて

北支具體策を國府に明示か

外相の裁斷注目さる

【東京三十日發】南京政府は廬山會議の結果支那統一の態勢に驀進しつゝ[illegible]て北支解決に乘出す態度を明らかにし南京政府が果して如何なる態度に出て來るかは注目の焦點となつてゐるが大體二樣の觀測が下されてゐる、即ち西南合併に氣を良くし一擧に北支の中央化に乘出し來り、この傾向の將來は日支關係を重大危機に追込むと云ふもので、第二は西南が落着した以上南京に楯つくものなし、從つて北支問題に思切つた協調工作を進め得る事になり、これに依り今や描いて北支問題の解決は他に求められぬと見るものである、右に對し我が外務當局では帝國の對支政策が飽迄自主積極的である以上、徒らに北支に對する南京の綜合二通方策を迎へて立つと云ふが如きものあるべきでなく、先づ現下支那の一般情勢を直視し、この際南京の北支工作に先手を打つて我が確乎不動な北支政策の具體的細目見解を南京政府に明示し、支那民心の不安猜疑を一掃すると共に北支明朗化に對する南京政府の積極的協力を要求すべきであるとの議論が擡頭して來つた、而して有田外相も對支三原則の路線に依る日支局面の打開を闡明し、既に抽象的原則論の時代を過ぎ日本は北支に何を期待し北支明朗化に於いて日支關係の正常化に邁進するを得るかの限界決定の時機を迎へてゐるので有田外相の重大裁斷は今や時期の問題として頗る注目される

英米に拮抗する兵力保有が目標

我海軍の軍備計畫案

【東京三十日發】帝國海軍の新國防充實計畫案は遲くも八月十日頃までには明年度豫算案と共に大藏省に提出すべく目下經理局で計數整理を急いでゐるが、その內容は極秘に附されてゐる、併し今回の軍備計畫案は所謂第一次、第二次補充計畫案が條約に依つて生じたる兵力量の缺陷補充を眼目として條約束縛下に審査されたのと異なり主力艦の代換建造を始め全艦艇に亙つて全く自由に我が國情、國民性に適應せる經濟軍備たらしむるやう案畫された點に特異性を持つと同時に英米の現勢力及び明年度以降の增艦計畫を目標とし略之と拮抗し得る兵力を保有せんとする內容のものである事は容易に首肯し得る所である、即ち

米國 は現在建造中のもの六十一隻二十二萬トン、未起工のもの六十四隻十七萬八千トンの計畫を有し、一九四〇年之が竣工の曉は艦齡內艦船のみで約二百十六隻百二十二萬五千トンに達する外、明年度よりは每年主力艦一隻の代換建造、驅逐艦、潛水艦、水上機母艦、補助航空母艦、其他各種特務艦合計五十四隻二十一萬二千トン十ケ年計畫を實施せんとしてゐる

英國 は現在建造中のもの三十二隻、十三萬トンの計畫を實施中で全部竣工すれば艦齡內艦船のみにて約百九十二隻、十四萬七千トンとなり、更に明年度より主力艦二隻、巡洋艦五隻、小型[illegible]艦一隻、驅逐艦九隻、潛水艦四隻、スループ六隻、砲艦二隻、小型砲艦十二隻づつを五ケ年繼續事業とし實施しようとしてゐるのに對して

帝國 海軍は目下第一次、第二次計畫艦艇中二十五隻七萬二千トンを建造中で未起工のもの八隻二萬トンに過ぎず、全部竣工しても艦齡內艦船は約百八十三隻七十八萬トンで英米兩國に比し六割四分強の劣勢となる事が明かである、故に約五年後の英米兩國に對抗し太平洋の制海權を掌握し國防の安固を期せんとする帝國の新國防充實計畫案の內容は假令經濟軍備に實施しても主力艦以下各艦艇及び航空隊等に亙り相當多額の經費を要する事は明白である

常に必勝を期す

百發百中の精神

艦隊訓練と將兵の精勵努力

（海軍武官室發表）

聯合艦隊は入港を前に二十九日海軍武官室より左の如き發表があつた

滿洲、上海兩事變の勃發以來我が國民は久しきに亙る歐米追隨の迷夢より覺醒し、其の後相次ぐ時難に處して飽迄不拔の國策遂行に邁進し來り旺盛なる日本精神の復活となり國運は興隆躍進の一路を辿り遂に今日に及んだのである、而して右は素より朝野民の然らしむる處なりと雖も吾帝國臣民が一致協力、非常時克服の熱意に燃えつつ各自の本務に邁進したる結果であると共に又帝國國防實力の儼然たる存在に依れる國策を推進しつつあるが爲に外ならないのである、然れども我が國運の進展は他面必然的に列國と[illegible]迫となり**非常時** は更に其の度を加重するとも輕減することなく從つて當分は到底非常時解消の望むべくもない所以である、此の非常時を克服突破するの途は一に國民精神の作興と全國民打つて一丸となる擧國一致を根本とし、而も此の背後に何國をも恐れざる實力就中充分なる武力の保持を絕對要件とする、而して此の武力なるものは獨り兵數の多寡即ち軍艦や飛行機の數のみではなく之を取扱ふ處の軍人が上下一致益々勇猛、精神に燃え、百練の技能、[illegible]こそ武力の實質であり、國防の最大要素であると考ふるのである、古來精練を以て最大の[illegible]となす帝國海軍に一の傳統あり曰く「百發百中の我砲一門は克く百發一中の敵砲百門に對抗し得」と、此の傳統を承けたる艦隊將兵は今次兵卒に至るまで旨とする

猛訓練 に精進するを以て居るのである、艦隊は生命と心得るに至つて居るのである、申す迄もなく我が聯合艦隊は海上武力の根幹であつて上命一下直ちに國防の第一線に立ちて名實共に所要の戰闘任務に即應し得る準備が完成して居らねばならぬ、我が艦隊の艦艇は彈丸も火藥も魚雷も實戰用のものを常に搭載して居ること は勿論であつて艦隊は常に戰闘[illegible]に在る、近時我が艦隊[illegible]一月下旬母港を發着して以來[illegible]もなく當季節は碇泊中と雖も朝は五時より夜間は九時頃迄又

航海中 ともなれば殆んど徹宵、大砲の操練なき時間は無いのである、「寢食を忘る」とは艦隊現下の訓練狀況に最も妥當する言葉であると信ずるのである、夜襲や演習中には食事も之を戰闘配食と名づけ、主力艦の艦隊等も又上は司令長官始め一兵に至る迄全員戰闘部署のままで握り飯を頰張りつつ戰闘操作を續けるが如きことも珍らしくはないのである、艦隊が時には母港を千島方面に向ひ又は今回の如く南支那方面に行動するも畢竟所在[illegible]たる海洋に戰闘訓練の[illegible]を積まんが爲に外ならないのである、「百發百中」は言ふは易く[illegible]

[illegible]んど二年の大部を通し人僚縮なる海上の海務又は洋上に[illegible]る猛訓練を[illegible]け三週間乃至は二週間に兩三日宛休養地に入泊するを常態として居るのであるが此の兩日課週課の如きも所謂月々火水木金々であつて荷も訓練地にある限り日曜もなく土曜もなく[illegible]

みも如何に重大なる結果を示すかは知る人ぞ知るで射撃前の如き砲員努力緊張裏に

華紙を 絕して居るのである、或は一本の煙草を喫む暇さへ惜み或者は休憩時間をも休まずに努力精進する、その裏面の隱れたる苦心準備は當人ならでは測り知るべからざるものがある、重ねて言はんとす、百發百中の妙域に到達せんが爲には百中の準備と百錬、神技と不撓の精神を要すと、就中發而百已まざる不撓不屈の精神こそ百發百中の最要要諦にしてそこに常人の夢想だも及ばざる辛苦が存するのである、「石に嚙みついても勝て」「武士の意氣地で勝て」之が艦隊乘員の信條である、斯くして各艦は何れも「艦隊第一」を目標として訓練に猛進するのである、而して聯合艦隊に於ける「艦隊第一」の勇名、獲得に[illegible]る「世界第一」の勇名の獲得たるべきを亦信じて疑はない所である、百發百中、世界第一を目指す艦隊訓練の意氣は乘員一致[illegible]たる[illegible]

壯快味 [illegible]

ハーバード大學三百年祭に

高柳、那須兩博士出發

米國最古の歷史を誇るハーバード大學が今秋九月十六、七、八の三日間盛大な三百年祭を舉行するに當り全世界の大學、學界に招待狀が發せられたが、我國からも東西兩帝大、慶大、早大各代表がこの祝典に參列するが東大では高柳賢三博士、那須皓、寺澤寬一、加茂正雄の各博士が代表として出發することに決定した（寫眞は東京驛を出發する（右）那須（左）高柳兩博士）

化粧品稅は中止？

大衆の保健衞生の增進と

國民生活安定の爲

【東京三十日發本社特電】內閣調査局並びに大藏事務當局で企畫中の化粧品稅は世人の奢侈化を戒める意味で香水其他一般化粧品中高級的な奢侈品に課稅するばかりでなく普通の石鹼、齒磨粉等を課稅の重心に置き云はゞ國民大衆の日常必需品に課稅しようと云ふ企てなので之を反聞した當業者は勿論の事、婦人會並に勞働者、農民を含む大衆にも之等課稅の結果最終消費者たる大衆に課稅額だけ轉嫁され日常必需品の物價騰貴を來たすものとして異常な衝動を與へてゐるので、最近之等客觀的情勢に鑑み調査局と大藏省兩首腦部協議の結果化粧品稅は國民大衆の保健衞生の增進と國民生活安定上策を得たるものに非ずとし其創設を見合はす事に諒解成立したと傳聞する

田邊農林次官

辭表を提出

電力國營案に反對

【東京三十日發】田邊農林政務次官は三十日午前十一時島田農相の手許へ辭表を提出した表面の理由は一身上の都合に依るものであるが同次官は豫て電力國營案に反對意見を持つてゐたのでその爲ではないかと見られてゐる、後任は政友會から銓衡する事になつてゐる

衆議院視察團

來月八日に著臺

南洋よりの歸途

去る七月八日サイパン丸で横濱解纜南洋群島に向つた衆議院南洋視察團一行十三名は視察の上十五日の瑞穗丸で歸京の豫定であるが一行中には前記 [illegible]比島、高雄港比島に寄港し八月八日基隆丸で高雄に上陸、一行は島內各地

官木下信氏が理事として參加してゐる、視察團のメンバー左の如し

△團長小山松壽（民政）大口喜六（政友）小西和（民政）西村金三郎（民政）佐保暢雄（政友）今井健彥（政友）△理事木下信（民政）佐藤謙之輔（民政）中井一夫（民政）金井正夫（昭和）山口久吉（昭和）、同行衆議院書記官西澤哲四郎、同囑託坂本恒吉

五ケ國會議に伊參加か

【ロンドン二十九日發同盟】確聞するにイタリー外相チアノ氏は二十八日伊國大使シャンブラン氏に對しイタリー政府の希望した條件は今全部滿たされたからイタリー政府は五國會議に參加する意向だと言明したと言ける

臺拓施行令と評價委員會官制

三十日公布即日實施

【東京三十日發】臺灣拓殖會社の設立準備も進捗したので政府は三十日官報で臺灣拓殖株式會社法施行令及び臺灣總督府官有財産評價委員會官制を公布即日實施した

臺拓設立委員けふ正式發令

【東京三十日發】兒玉秀雄伯を委員長とする臺灣拓殖設立委員は三十日正式發令した

主力艦二隻の建造を決定

英外相が聲明

【ロンドン二十九日發同盟】英海軍當局は本年末ロンドン、ワシントン條約失效に備へ三萬五千噸主力艦二隻建造に決定したが、ホア海相は二十九日下院でヴイッカース・アームストロング會社に注文し來年一月二隻の龍骨据付を行ふと言明した

人事

▲三島通陽子爵（少年團日本聯盟理事）三十日來臺（鐵道ホテル）

▲辻州奈輔氏（新北州新勸業課長）去る二十八日新竹より着任

◇無絃琴◇

獵奇とエログロと共に百パーセントのお定事件は、その後に於ても興味さして冷却せず、一部の間には反對に熱度を高めてゐるといふ有樣で、日本性史上まさに一時期を劃したとの素評▲目下のところで人氣の焦點になつてゐるのは、帝都品川の品川旅館に於て、お定が[illegible]前夜按摩を呼まれた[illegible]歲吉岡方止宿服部幸三といふ二十五歲の按摩さんで、世の好奇心は競うて此青年按摩を呼んで當夜の情況を一席ずつ語させるので、此頃では本業按摩の方はお斷りして待合その他の御座敷にお招ばれでカーテンレクチュアをする事が本職となり、その方のお話にも慣れて相當に尾ヒレをつけ案外面白く話り、今では素晴らしい收入を見てゐるさうだ、中でも忘れ入つたのは服部君を伴ひ品川旅館に入りお定の部屋で實地檢證をする者などもあり全くイヤハヤであるといふ▲更に未決囚のお定に對しても每日差入弁當か雨と降り注ぎ、彼女を苦笑させてゐるさうだ差入する人は大部分未知の人々で此差入に從つてお定の知遇に預からんとするものらしいと、尤も中には彼女と今から知り合ひになつて居り數年の刑期が過ぎ世の中へ出たら、相當資金を投しても彼女を餌に一儲けしようといふ太い[illegible]もあるとのことだ

その日その日

○

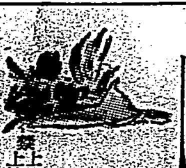
いよ〳〵國防費が出たら驚内藤が納得するだらうと、今までは足並が揃つてゐたぞうな口振り

○

[illegible]

北支に伸びる蔣介石の腕――そこで夜の明け[illegible]の日も近づいて來たワケ

[illegible]



戀愛市場 (61)

松波治郎作

宮田彌太朗畫

アパートの姉妹（二）

消炭を摑み出して、古新聞を丸めた上にのせて、マッチを擦り、横から、ふう〳〵と息を吹つかけて惡美子は火をおこして居る[illegible]

その横に、きちんと坐つた時折、まつ毛に露を宿して居るのが、しづ枝だつた。

「しづ枝、火が飛ぶわよ」

惡美子はぱちぱちと火花を散らす安炭をつき乍ら、注意した。

「いいの、それより、姉さん、[illegible]がよごれてよ」

「いいわよ、どうせ仕事服だもの」

「くすぶるわよ」

「かまやしないよ」

姉妹は、そんなことを話し合つた。

「アパートは[illegible]」

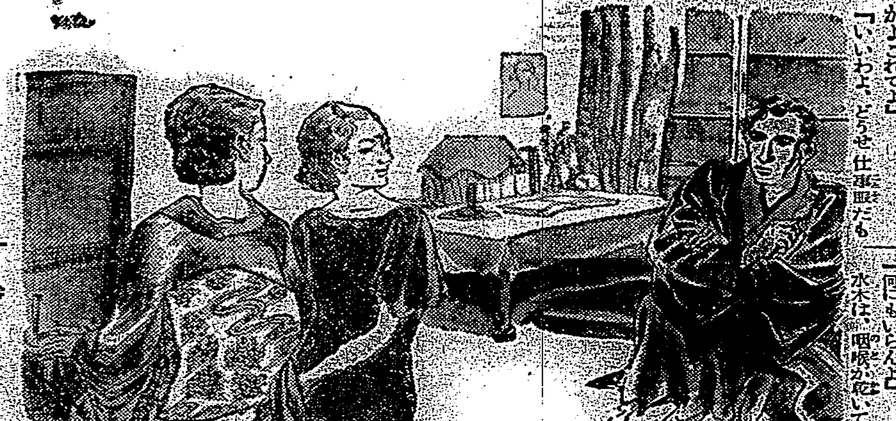
[illegible]

「昨夜の、あいつが、すつかり飲んぢやつたのよ」

「仕方がないのね」

[illegible]

水木は、嘲笑が[illegible]ていた。



の」

惡美子も着換へようとはせず、

「今、お茶を淹れますから」

さう水木に云つた。

「いいの　遲いんだから構はなくつたつて」

水木は、其處の壁に掛け散らしてある、木綿の染めがすりの着物をもの珍らし氣に眺めた。

そして、一方の棚の花立てに先夜縁日から花賣りに買はされた白い花が、そのままに飾られてあり、艶めかしい綠色の座蒲團があり、しかも、詩集が半ば開かれてあるのを見て居た。いや[illegible]もの「雷雨」もあつた。

部屋は半ば、片附けてあつた。

縫かけの布さへ、[illegible]に押しやつてあつた。それは惡美子の[illegible]だと[illegible]。机には、しづ枝のものだとは[illegible]切つて居る。

「本當に、おかまひも[illegible]」

「[illegible]、火がおきましたわ」

「天窓をかけつちまふわ」

「いいえ、今夜に、あた[illegible]」

[illegible]

「お茶さへ、あればいい」

「でも、姉さん、ウヰスキー少しあるでせう」

「あゝさうだ」

三尺の押入れを惡美子が開けると、其の上の方に、ウヰスキーの瓶とピーナッツとがあつた。

小さいカップが三つ。それに黄色い酒が注がれた。

ピーナッツの色も黄色い。

灯を受けた、そのカップを、かちり、と合せて、三人が、一口ちゆつ、と啜つた時に、始めて、につこり、期せずして三人の笑顏があつた。

「しーちやんが笑つたぜ、あははは」

水木は、さう歡聲した。

「もう、泣かないわ」

しづ枝は指先で、眼頭をこすつて答へた。

「あたし、先生に、今夜、すつかり聞いて頂きたいの、でも隨分御迷惑でせう」

「いや光榮だ」

ざくり、豆を口に[illegible]込み乍ら　この[illegible]中の二人の[illegible]を、改めて、しみ〴〵と水木は[illegible]した。

右　リキシンで全快せる狀態
左　全身不隨瀕死の圖

半身不隨
中風も僅か廿日で
爆彈的な新學說
病原を一掃する血液の大掃除療法

「中風は治らぬ」と諦める人は多いが、之等の人に[illegible]
[illegible]
頭重・のぼせ・目まひ
耳鳴り・肩こり・腰痛
ふらく・息切れ動悸
手足しびれ・性慾減退
[illegible]
リキシンは全國藥店にあり
一円半・三円半・六円半
大阪市大仁・[illegible]化學研究所
[illegible]

わけなく全滅！

殺せ蠅！
イマヅ蠅取粉で
▼蚤・南京虫・家ダニ
▼蛾・あぶら虫・うじ
▼犬猫牛馬、家禽の蚤虱・ダニ・羽虫
▼庭木、盆栽の赤虫毛虫・あぶら虫等
忽ち全滅！

液体殺虫剤と比べ
イマヅは遙に優る
▼キメ強く、永もちのする點で液体とは、まるで段違ひ
▼液体を嫌ふ家畜や家禽に安心して使用できる
▼液体は引火し火事を起す心配はあるがイマヅはそこで使つても絕對に安全
▼イマヅの容器はその儘、撒粉器の用をするから、液体の樣に特別の噴霧器を買ふ必要がなく、非常に經濟的

人畜無害
今津化學研究所理學博士[illegible]

全國藥店にあり
イマヅ蠅取粉
H.110.E

イマヅ
驅殺虫
取粉
蠅
芳香
福當り

大阪市・大仁本町　今津化學研究所

イマヅ蠅取粉
ダニ
ナンキンムシ
アリ
ケムシ

"歡迎！無敵艦隊"の流し旆　けふ榮町通り所見

東京開催
果して成るや否や
オリムピツク委員會
きのふ華々しく開く
決定は三十一日か

【ベルリン二十九日發同盟】東京開催果して成るや否や最後の運命を決するオリムピツク委員會は二十九日午後四時ベルリン大學校內ヴイルヘルム・フリードリツヒ大講堂にて開催された我が嘉納、副島兩氏は勿論各國委員モーニング姿で參列、式はベートヴエンの曲の裡に開會され獨逸側からは

黄色の 禮服姿のヘス無任所大臣、リツペルト・ベルリン名譽市長、體育長官オスチン、オリムピツク組織委員長レワルト博士等出席交々起つて歡迎の辭を述べるや國際オリムピツク委員長ラツール伯は英佛二國語を以て之に答へ、午後五時三十分莊重な氣分の裡に式を終つた、總會議は三十日午前九時から開催、直ちに第一議題から協議に入るか、議題第三の次回大會開催問題が果して

如何に なるかドイツ側の觀測によれば三十一日に延期されるとも言ひ、雨か嵐か日、英、芬三國委員の胸中は果して如何、各國委員等と共に大講堂の入口に現はれた嘉納、副島兩委員の顔には殊に印象的なものが感ぜられた

廿九日夜半に至り
英・突如立候補を撤回

【ベルリン三十日發同盟至急報】オリムピツク委員總會第二日の次回大會開催地決定を目前に控へ二十九日夜半に至り英國代表は突如立候補を撤回するに決定したと確聞する

移動警察官の
床しい心づかひ
獨り旅の幼兒を世話し
父親から涙の感謝狀

【基隆電話】從來各航路船舶乘込みの移動警察官は兎角旅客より忌避され又中には反對に圖々しい奴があつて利用しようとかかる等兎角の批評を受けて苦しい立場にあつたが基隆水上署高等係でも七月初移動警察を實施するに至りその目的が檢査の完璧と入港後の[illegible]事務簡化にある事を周知せしめて[illegible]から批評を受けぬ樣人知れぬ苦心を拂ひつつあり、その苦心の中に次の樣な話がある、即ち去る二十日神戸出港蓬萊丸に

乘込んだ高等係巡査K氏は臺南州村子街某有力者の今年七つになる女の子が神戸の親戚から父の許へ歸るべく唯一人で乘込み幼兒の一人旅とて勝手も分らず淋しがつてゐるのを知り何かと世話をしよき父となり良き友達となつて愉快な航海を續けさせ基隆入港後岸壁に出迎へた父親へ無事引渡したが二十九日村子の父親から水上署宛に色々お世話になつたと限りなき感謝をこめた長い手紙が届いた事から

始めて 右の事實が判明し高砂丸船長以下斯くてこそと大いにその遂行をたたへたものである當り前であつて決して當り前でないこの行爲は今後旅客の移動警察官に對する惡感を大いに緩和するに役立つであらう

明治天皇御例祭
天皇陛下御親拜
桃山では嚴かな山陵祭

【東京三十日發】明治天皇御登遐ありまして二十五年、三十日明治天皇御例祭は宮中皇靈殿で嚴かに執り行はせられ　天皇陛下には午前九時[illegible]御出御、御親拜を了させられて出御親しく御祭儀を[illegible]、この日桃山御陵でも嚴かな山陵祭を行はせられた

再び葉山に
行幸

【東京三十日發】天皇陛下には御祭典も滯りなく御終了あらせられたので三十日午後二時五分東京驛御發車再び葉山御用邸に行幸あらせられた

さすが臺灣の旅客機
オイル冷却器を
スーパー機に裝置
島內定期飛行の安全性倍加
けふ各種のテスト

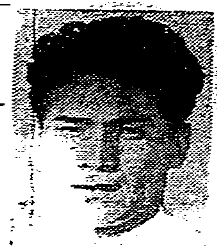
島內定期航空の開始をあと二日に控へ日本航空輸送會社臺北支所では先頃福岡から空輸したフオツカー式スーパー・ユニバーサル旅客機（J-BATO）が炎暑では內地と違ひ常に炎熱の中を飛行するため特に飛行中の安全を計るために發動機の潤滑油を冷却する必要に迫られたので、英國では旅客機として最初の試みとして今回特に大型のオイル冷却器を機體の下方兩側に取りつけることになり[illegible]日本空輸臺北支所格納庫に於いてこれが整備を

諏訪飛行士

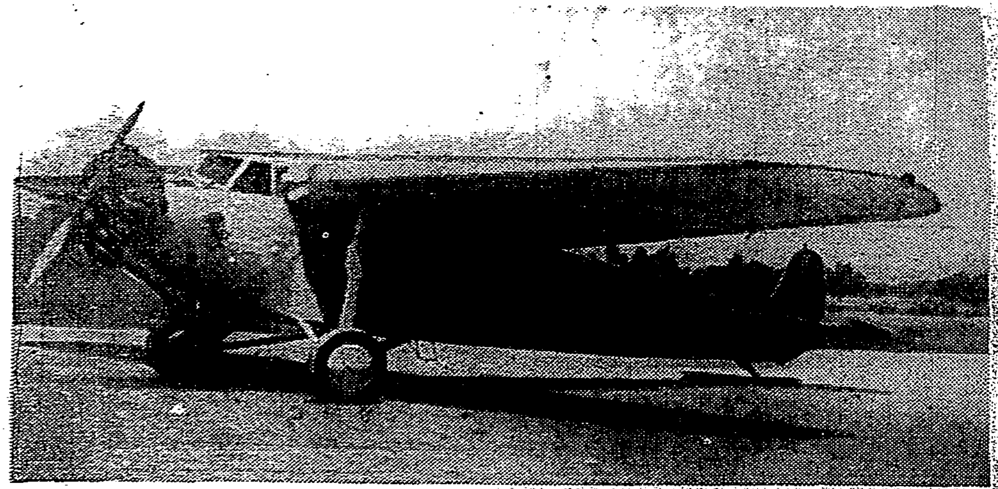
急いで ゐたが愈々完了したので三十日午後零時半諏訪飛行士、五味機關士、吉谷技師が搭乘し臺北飛行場を離陸同飛行場を中心として淡水から新店線上空に亘り約一時間半近く高度五百米より三千米の範圍で各種のテストを試み豫期以上の成績を納めた、諏訪飛行士は語る

內地では、これだけ之を要しませんが、臺灣では定期航空の[illegible]を期するために、特にこの冷却裝置をつけた次第です。種々の高度でどんな冷却具合になるか試驗して見ました が、いづれも有效に働いて呉れました。この裝置さへあれば　どんなに暑さの激しい時でも發動機が過熱するなどのことはなく、安心して飛ぶことが出來ます

（カツト寫眞はスーパー機のオイル冷却裝置）



五味機關士



整備成つたスーパー旅客機

世界最大の短波放送機
いよいよ來月完成
十一月から海外放送に活躍

【東京三十日發本社特電】現在世界最大の短波放送機はドイツ・ツエーゼンの四十キロのものであるが今度更に之よりも大きな五十キロ放送機を丹羽博士によつて製作中である右は放送協會の海外放送が今秋十一月から現在の對米國太平洋ゾーン（午後二時－三時）から一躍對歐州米國東部（午後四時－五時）對南米（午後六時－七時）對海峽植民地濠州東洋諸南洋諸島（午後十一時－十二時）に大擴張する事となつたので之に容るものであるテストの結果は總て良好で目下組立作業中で八月一ぱいには完成、公式テストの上、國際電話の名崎送信所に据つける筈である、かくて此新放送機によつて躍進日本のニユース、藝術は世界の隅々を訪れる事となるが更にオリムピツクが日本開催となれば大いに其活躍を期待される

日本軍天幕に
實彈が命中
ソ聯の陣地から發射

【新京二十九日發】（關東軍發表）二十六日午前六時三十分頃東寧附近において演習中の日本軍天幕にソ聯陣地より發射された機關銃彈三個及び輕機關銃彈十四個が落下命中した、人員には損害なきも實彈演習に依る實彈の滿洲國領土へ落下した事實に對し軍はソ聯側の反省を促すと共に嚴重抗議した

聯合艦隊は廈門に短期碇泊
居留民は悲觀

【廈門特置員發】居留民待望の聯合艦隊は四日間碇泊の豫定を變更八月五日朝廈門港外着同日夕刻出航となり一同聊か落膽氣味である、而も當地支那新聞は豫想された如く艦隊入港に神經を尖らし茲の所連日之に關する記事を掲げて日本の南進政策の表はれとか、福建に對する示威運動とか報じてゐるが之に對し市政府は日本聯合艦隊は每年演習を行ふもので何等特別の性質を帶びるものではないと極力支那紙のアジるのを抑へてゐる

商工銀行
株主總會
新見氏が監査役新任

商工銀行の第五十二回株主總會は三十日午前十時二十分から同行樓上に開催、古賀頭取病中の故を以て山中專務が議長席につき、挨拶に次で各地支店不祥事件、新見取締役への慰勞金問題、古賀頭取經過に關する說明をなし質疑應答の上議事に入れば、諸局承認事項並に利益金處分は原案通り贊成可決滿期重役の改選は議長一任の動議を容れて取締役に古賀、藤原、藍、後藤（以上各重任）監查役には新見喜三氏を指名して同三十分散會した

海員審判

地方海員審判所では二十九日午前九時から戸水審判長、山下、瀬戸口兩審判官及び打狹理事官列席の下に左の三件の海員審判が開廷されたが、被審人は三人共缺席し同十時に閉廷した、理事官の意見は左の通りであるが右三件とも裁決言渡は八月二十八日午前九時からである

昭和十年一月十三日パラワン島北側ボンベー礁に坐礁、最大搭載人員超過

海員雇入公認の手續を怠りたる機船第五寶殿丸坐礁並義務上義務違背事件

受有小形乙二免狀二月停止譴責　白銀久一

無資格者に本船の運航を放任したる職務忌慢事件

受有沿乙二免狀一月停止　奧平游二

指定せられたる臨時檢査の申請をなさず且つ檢査中未了の儘本船を航行の用に供したる職務上義務違背並失行事件

受有乙二免狀各一月停止　許瑞

專賣局の池田技師
歐米へ出張
之を機會に技術者も
順次・外國行を認めらる

專賣局南門工場長池田鐵作氏（理學士）は約八ケ月の間に米國及び獨逸の人造樟腦事業を視察することとなつた（出發は九月頃）同局技師の外國出張は上野、沼井兩氏が先年派遣されて以來永い間杜絶えてゐたが今回專賣局側の主張が容れられて今後は順次技術官の外國出張が認められる樣になつた、之については從來同局參事が一年を期間として經濟駐在官たることを續けて來たのを、新に現在の淸水參事から一年半に期間を延長し併せて技師の外國旅費をも捻出したことによるものである、但し技師は參事のやうに每年交代で出掛けるほどには旅費に餘裕なきため恐らく二年に一人といつた程度に派遣されるものと思はれる

麗眸の第二世が
ア國で師範教授
日本女性のため氣を吐く榛葉孃

【東京發航空便】日本人を父に持つアルゼンチンの邦人第二世の女性が始めて同國の師範學校教授といふ要職に任命され日本女性のため萬丈の氣を吐いてゐるといふ愉快なニユースがある──日本人として始めてアルゼンチンに渡航して彼地にあること既に三十餘年、現に國際文化振興會のブエノスアイレス連絡員として日亞兩國間の文化外交に畢生の努力を捧げてゐる榛葉賛雄氏を父に聰明のスペインの血を

受けた アルゼンチン人を母に持ち第二世として昨年三月始めてブエノスアイレス文科大學を卒業してドクトーラの稱號を得たヴイオレツタ・榛葉孃（二三）は去る五月三十日付を以てラプラタ師範學校教授に任命され第二世としてとかくハンデキヤツプのあり勝ちな亞國社會に進出し、在留邦人のみならず學友をアツと言はせてゐるといふ朗らかな便りがこのほど榛葉氏から國際文化振興會にもたらされた、ヴイオレツタ孃は

學窓を 巣立つてからも日本文化の研究に專念し屢々母校や日亞文化協會の依囑で演壇に立ち、亞國の新聞雜誌に寄稿して父君をたすけ日本文化の紹介に努めた、新興國として在留邦人僅かに五千餘といふアルゼンチンに於て早くも第二世が激しい就職戰線を突破し此の地位を得たことは亞國のみならず海外に於ける第二世の社會的進出として各方面から注目されてゐるがヴイオレツタ孃の輝かしき將來こそ明日の若き第二世の躍進を約束するものであらう

日本一の
サンキストシロップ
（各地販賣店に有り）
元賣捌　株式會社　[illegible]宅商會

▲島內定期航空三十日發上り便ダグラス機富士は午前六時十一分臺北飛行場を出發、乘客は上原德緊（那覇迄）が一人

▲同下り便二M機しらさぎは午前八時四十分福岡飛行場を出發、乘客は那覇迄一人

商工協會員らが艦隊見學

商工協會では第一艦隊を見學して軍事思想上多大の啓發を受けべく臺北西門町協會員七十名並に大稻埕青年團員二十名は來月二日艦隊見學を行ふ事に決定した

メガホン塔

▲[illegible]は紹勾にやめませう（本島人代表）▲庶子は父親に私生子は母親に課稅すればよし（奢差稅贊成者）▲三十一日第一艦隊歡迎の海上提燈行列に基隆炭礦音樂隊も是非參加を希望す（市民の聲）▲若竹町に改築中の中二階は建築法違反ではないか（大工）▲市場前の角店あたりに映畫館を新築せよ（映畫ファン）▲高砂公園內の露店行商の立退を斷行せよ（傳染病）

あすの天氣

臺北地方　東の和風雨一時驟雨
北部一區　南東、和風雨一時驟雨
東部二區　南、和風曇後驟雨
西部二區　南、和風曇後驟雨
南部二區　南東の疾風曇驟雨

概況（三十日）七五八粍の高氣壓は小笠原島の洋上に滯留し七四四粍の颱風は北緯一九度東經一一九度附近に在り北西に進む模樣、本島は北部が南他は一般に東南部海上には南東の強風狂浪高く北部海上は南東の疾風波浪稍々高し

滿汐（三十一日）

基隆　滿潮 [illegible]　干潮 [illegible]
高雄　滿潮 [illegible]　干潮 [illegible]

各地溫度（三十日午後二時）

恒春 二八・一　臺中 三二・八
[illegible]

ライオンかとり線香
強力殺虫液 エキライオン

ドンナ油嫌ひの方々ニモ
キットお氣に召すのは[illegible]の評判
ランラン洋髪香油です。

整髪は紳士のたしなみです
伊豆椿チック
伊豆椿ポマード本舗　大槻彩芳園

ラッパ印　かとり線香　殺虫液

肺・肋膜・衰弱に　末粉テルミンの食養法　病院御採用
藥店にあり　大阪市[illegible]

臺北案內
內地土產　三共舍　臺北市榮町四丁目
料理屋　生そば　壽司　勢金　京町店
うなぎ蒲焼　八州庵　土用ノ丑（二十日）
菓子商　小菊饅頭　臺北市[illegible]
寫眞　三五ミリフイルム　メイスピーカメラ　近日來荷　京町トウゴーカメラ
治療所　慢性病　電氣治療　新起町市場裏通り　昭和醫院
雜件　上山測量部　臺北市[illegible]
商品券　電話賣買
商品券　債券　電話賣買
清楚な夏の粧ひは是非　みどり院　市內表町
秋播　新種子　臺北種苗園　臺北市川端町

キユーピーマヨネーズ
不意の御來客に　每日の御食膳に

大の冷西瓜　冷ビール　西門市場

チューブ入二十五セン
掻くにも掻けない苦しい痒さに嬉しい
ミツワ制痒膏

型破りとても面白い流行歌
とんがらがっちゃ駄目よ
唄　渡邊はま子
佐伯孝夫詩・三宅幹夫曲
好調の渡邊はま子、又々大ヒット。兩面とも斷然型破りの三六年後半初頭を飾る第一陣！
B面「ハリキリ・ボーイ」古川綠波
ビクター　レコード番號五三七八九

流行歌　泣かせてネ　新橋みどり
主題歌　花嫁双六　楳本一郎　新橋喜代丸
B-6
タイヘイレコード

ヤマサ醬油
景品付特賣
硬質性陶器　鐵鉢形　小丼六個　樽に
同　一個　壜に
臺灣全島　發賣元　近藤商會

紙衣祖師（170）

吉川英治作
山村耕花畫

東國篇

浄土の小鳥

秋の收穫も終つてゐた。

「――お上人様がお歸りになつた」

「信州からおもどりになつたげな」

和田から宮村の邊りへかけて、その日は、官民共に、こぞつて出迎へに出てゐた。

親鸞が、自身信州へ赴いて乞ひ請けて來た一光三尊の善光寺如來の御分身を出迎へたのである。

稻田の大掾那、大内國時も特に城を出で、親鸞たちの一行を拜陀した。小栗の城主笥家も出てゐたし、笠間などの大小名を初め、その家臣、郷士、町人、それを慕ふ殊勝な民衆――何しろ夥しい人出である。この地方の文化が興つてから始めての盛觀だといふ老人もある。

一光三尊佛の御分身は、伽藍の建築が完成する迄、先づ宮村の庵室へ、假に安置することになつた。

夜になると、田や畑の者が、それを禮拜したさと、ここの法座をさしてぞろぞろ押しかけた。狹い庵室には入りきれない程押しかけた。毎夜のやうに、庵室は、明々とかがやく灯と、さうした人々の膝でいつぱいに埋れた。

――秋も暮れてくる。

野や田や、木々の葉は、斷々と冬枯れを告げてくるが、宮村の草庵の灯は、いよいよ、常世の光明にみちてゐた。

年が明け、春が來る。

さながらここは法の萬華の咲きみだれた卅十萬陀羅であつた。

「ありがたうござりまする」

「又、あした參りまする」

「どなた様も、御免なされませ」

「どれ、わし等も――」

その日の集まりは、たそがれに終つて、講聞の法座であつたので多くは、野に出て働かない町方の女房だの、老人だの、病人や子どもたちであつた。

みな、欣ひにあふれて、庵室から、ぞろぞろともどつてゆくのである――今、法座を終つて、ほつと、冬の紅い陽しで白湯をのんでゐる親鸞の前へ二人三人と出て、から挨拶しながら――

その中に、一人の女が、膝のすみにうつ向いてゐた。

すべての人が、立つてから出ようとするもののやうに、つつましやかに、まだ坐つてゐた。

もう庵室のうちは暗かつた。そこらには、灯りが來てゐる。夜風に明滅する明りの影に、その女の顔つきやうに見てゐる瞳のおくれ毛が淋しげに、うごいてゐた。

「……」

女は、氣がついたやうに、瞳を上げた。もう周りに人はゐなかつた。急に恥かしくなつたやうに、女は、上人の前へおそるおそる兩手をついて、

「ありがたう御座いました」

そして、一光三尊佛の壇へ向つて、白い手をあはせ、

「なむあみだぶつ」

何事かとなへて立ちかけた。

親鸞は、先刻から、その女を見てゐたのである。――いやその夜に限らなかつた。もう數度となく法座のある時には、いつでも、膝の隅のやうに小さくなつて、熱心に自分の話に聞き入つてゐるこの女のあることを知つてゐた。――ふと姿の見えない時は、親鸞も心のすみで、

（けふは何うしたか？）

と、軽く案じられる程、いつても出席してゐた女性なのである。

「――お内儀、ちよつと、お待ちなされ」

と、親鸞は今までことばをかけた事のないその女に向つて、初めてその日、から聲をかけた。

思ひがけなく、上人にから呼びかけられると、女は、冥加に顫へて、

「は、はい……」

と、織のやうにやはらかに、その儘、ひれ伏した。

「同行衆は、もはや皆、おもどりなされた。おさしつかへなくば、もうすこし話して行かれぬか」

「もつたいないお言葉でございまする」

「さう、堅うならずともよろしい、親鸞は、誰とも親しい佛ちや、お寄りなされ、呼んでなら、もそつとこちらへお寄りなされ」

「はい」

「お内儀。――お宅は遠いのでおざるか」

「河和田の者でござります」

「それでは近い……。して、主どのは？」

「平次郎と申しまして、稻島の御普請に働いてゐる大工でございます。わたくしは、平次郎の女房で吉といひまする」

「ほ……平次郎？……あの酒ずきでよう喧嘩をする男の、お内儀か」

「左様でございまする」

お吉は、眼をあからめて、聞き取れないやうな小さい聲になつた。

「ようお上人様にも、良人のひとの噂をお聞きでございませうが、おそろしい一徹者のうへに、大の念佛ぎらひ、そのため、御庵室へ詣でたいと思つても、有難いお教へを聞きたいと願つても、良人のひとの手前、いつも思ふにまかせませぬ」

「む……」

親鸞はうなづいて、

「さだめし、良人の氣に入るにはなかなかご苦勞がお在さうな」

「い、いいえ……」

お吉は、こんなやさしい言葉を初めて人の口から聞いた。村の人も、自分を知つてくれる者は皆なぐさめてはくれるが、親鸞の暖かいことばのうちには、何か胸を衝くやうな慈悲大悲の、温かい愛がこもつてゐた。張りつめてゐた瞼の水が溶けるやうに、彼女はつい、ほろほろと涙をこぼしてしまつた。

「お内儀」

「はい」

「お身ひとりが、苦惱を身に苦しんでゐると思はれるなよ。お身の良人、お身の苦しみ、みな御佛も御覧ぜられてゐる。この親鸞も、よう見てをります。……何ぞ思ひあまる事などあるなら、ちやうどよい折ちや、わしに話してみるがよい」

「……有難うございます」

お吉は、膝へひれ伏したまま合掌して、

「この身に負はされた約束事と思うてをりまするから」

「それではならぬ、約束事、宿命、諦め、ただそれのみで抑へてゐては、容易に、心は安らぐまい。かよはい女の身、もつと心持を樂におもちなされ、この親鸞とて、そなたと變りのない凡夫ちや、ただ何事も御佛に二人づれなればこそ、かうして、氣づよくもをられまする。……その御佛の力をお借りなされたがよい。何ぞ、胸に思ひあまる事があれば、縋つて、申されたはうがよいのです」

「お上人様……思ひあまる事と云ふのは、信心をすれば、良人の心に逆らひ、信心を離れては、今の私は、生きてゐるそらもないのでございます。……この女の道と、人の道とを、一體、どうしたらいいのでございませうか、それをお教へなされて下さいませ」

「さうか、よう解つた」

親鸞はうなづいて――

「良人の心に添はうと思へば彌陀に離れ、彌陀のおむねにすがらうとすれば良人の意志に反く。……さう云はれるのぢやの」

「はい……」

お吉は、頬に涙をまろばせながら、膝を、前へにぢり寄せた。

「お上人さま！」

「おう」

「それはもう言葉にも云ひやうのない辛いことや恐ろしいことが、朝にも夜にも、この身を責め折檻するのでございます。……おねがひでござります、お上人さま！どうぞ私を、尼にして、お弟子の末の末にでも、おつかひなされて下されませ」

「尼に？」

眼をみはつて、泣きおののく黒髪を見つめながら、

「まて。……尼になられたら何うなると思うておざるか」

「この黒髪さへ斷りましたならば、あの恐ろしい良人も、眼をさまして、心を持ち直してくれるかもわかりません。――又、私も永い年月、どんな辛抱しても、うちの良人が眞人間になつてくれるよう、そして、世間のよい夫婦のやうに行末には、今日の辛さや悲しみも思ひ草にして語りましたが……もう此頃はその望みも持てなくなりました。身には生傷が絶えませんし、心には、暗いものがとれません。明けても暮れても、眼を泣き腫らしてゐるやうでは、うちの良人の氣持も荒ぶばかりでございます。二人が一つ軒下に居つてゐるのは、この世ながらの地獄を[illegible]つてゐるやうなもの、あの人の爲にも、疲れた私の身にも、尼になるのが、いちばんよい道だと存じます。どうぞ、お慈悲と思うて、お剃刀をいただかせてくださいませ」

「うむ、一應は御無理のないおたのみぢやが、然し、外の姿は尼にと變へても、心のすがたを何で變へる？」

「え？……」

「黒髪を剃ろしただけでは、心のすがたまで變へたとはいはれぬ。眞實、今いうたやうなお内儀の心ならば、まづ黒髪はいつでもよい。なぜ、その心から先に變へようとはなさらぬか」

「お教へくださいまし、それが分れば、私は、お上人さまの仰つしやるとほりに行ひます」

「よう云はれた、眞、御佛に仕へようといふ御發心ならば、いつも親鸞が申すとほり、朝念暮念、ただ念佛を忘れぬことです。念佛を申すことならば、血の池の底、針の山のいただきからでも、云へることぢや。聲を出して云うて悪ければ、口のうちで云ふ一遍の念佛は、寺入して千萬度云ふ唱名よりは尊いのでおざるぞよ。その日その日の生活の苦勞のうちに申してこそ、その念佛は生ける人の聲として、御佛のお耳へもきつと屆く――疑ひたまふな、お内儀！稼業俗生の生活の忙しきうちから申す念佛とて、きつと彌陀は受けたまふにてあるぞ。……さうぢや、親鸞が今、よい物を進ぜよう」

さう云つて、

「蓮位、蓮位」

と、呼んだ。

弟子僧に、硯や筆や紙を運ぶやうに云ひつけて、親鸞は、六文字の名號を書き、それをお吉に與へて、

「これからは、ここへもお出でにならぬがよい。御佛は今かりに、お身の良人の平次郎の身にやどつて、お身の信心を試してをられる。良人の平次郎を御佛と思うて仕へたがよい」

と、諭した。

獸大佛妻（一）

「お吉つ、お吉つ」

朱を擦すつたやうな顔に、青すじを膨らませて、河和田の平次郎は、こよひも、仕事袴も脱らずに蹈るとすぐ膳の酒に向つて又例の喚きだつた。

「やいつ、居ねえのか」

暮れたばかりの仄暗い所では、お吉が、何か野菜でも刻んでゐるらしく、細かい庖丁の音がしてゐた。

「はい」

答へると、

「つんぼかつ」

「たつた今、おまへさんが、漬物を持つて來いとお云ひだから、漬物を出してゐるんぢやありませんか」

「べら棒め、漬物を出したつて、酒のはうがもう空つぽだ。酒はあるか」

「ま、もうおしまひですか」

「買つて來いつ。――何かそこらの物を持つて行つて、市で叩き賣つてしまふなり、借りるなりして酒を持つて來い」

「そんな無茶をしないでも、もッと召上がるなら、お酒はまだたんと買つてございますから、安心しておあがりなさいませ」

「ふうむ……この頃はいやにいつでも斷れたことがねえな。いつたい、その酒の金はどうしてゐるのだ」

「ですから私が、あなたの寐た後も、晝のうちも、かうして一生懸命に、機を織つたり、柳を削つたり、賃仕事をしてゐるではございませぬか」

「賃織場の綱ッ曳きには出す、説教を聞きにゆく暇はなし、聲の浮くやうな念佛もぷッつり止めて、この頃は氣味のわるいやうに從素直になりやがつた。……やッぱり女つて奴は、時々、半殺しの目に合はせてくれるのが藥だとみえる」

「さ、温めて參りました、お酌をいたしませう」

「ばかつ」

一口飲んで、

「何だ、まだぬるいぢやねえか。酒飲みの亭主を持つたら、酒の燗くらゐはおぼえておけ」

「すみません、温め直して來ますから」

「いいく。後のやつを、もつと熱くしておくんだぞ。それに、肴といやあ、毎晩、芋か蓮根だ。あしたは弓を持つて、裏山の小鳥でも獲つて燒いておけよ」

「いつも、さう思ひながら、つい織仕事の暇も惜いものですから」

「云ひ譯は止せ、酒がまづくならあ。氣のきかねえ阿女を妻に持つと、かう世話が焼けるものかなあ」

「さ、こちらのが燗きました、熱いのをお酌ぎいたしませう」

「熱ツ。……どぢめッ、こぼさねえやうに酌げねえのか」

「あ　かんにんして下さい」

「う、うーい」

平次郎は、[illegible]しながら、

「ここんとこ、久しくこの腕ッぷしを振り廻さねえから、癇の蟲が退屈しやがつて、何だか、かう疼々してゐるのだぞ」

「あまり過ぎると、身體にこたへますし、あしたの仕事もありますから、もう横になつてお寝みなさいませ」

「この横着者め、おれを寝かせてめえも早く樂をしてえのだらう……ま　まだいくらも飲んぢや居ねえ、もう少し燗けて來い」

良人の醉ひは、もう充分の度を超えてゐるし、あしたの仕事に出る體の爲にも氣づかはれたので、

「お酒はもうございませぬ。それよりも、もうお寝みなさいませ」

臥床へ夜具をしきかけると、その顔をかすめて、いきなり一枚の小皿が飛んで來た。小皿は、幸に彼女の顔へは中たらなかつたが、うしろの壁へぶつかつて、烈しい音と共に、粉になつて碎けた。

「この、嘘つきめ」

と、平次郎は險しい顔を向けて喚いた。

お吉は、何を怒られたのかちよつとわからなかつた。その、呆つ氣にとられたやうな顔が又、酒亂の良人の氣持を更に焦だてたものらしく、

「たつた今、いくらでも酒は買つてあるから安心して飲めと吐かしやがつて、もう無えとは、何の云ひ草だ」

突つ立つて來ると、何を云ひわけする間もなかつた。尤も、こんな場合、云ひわけをする事は、よけいに良人の兇暴癖を募らせるものであることもお吉はよく知つてゐる。

「畜生つ」

黒髪をつかんで、平次郎は妻の體を前へぐつと引いた。そして、左右に振り廻したと思ふと、烈しく、平手で妻の横顔をなぐつた。

「……あつ、か、かにんして下さい」

お吉は、それだけしか云はなかつた。平次郎は　睨めすゑて、

「すべためッ」

自身も息がきれたのであらう。肩で大きく息を吐いて、暫らく、拳をかためてゐたが、醉ひに堪へかねたものとみえ、彼女の敷きかけてゐる蒲團のうへに仆れると、その儘　野獸のやうに、大きな鼾をかいて眠つてしまつた。

「……もし、枕を、枕を」

お吉は、酒天童子のやうに[illegible]寝入つた良人を、怖々とのぞいて、そつと、その顔を木枕へのせて、足のはうへ、夜の具をかけて、ほつと自分に返つた。[illegible]

松の根を焚いて、お吉は、それから夜の更けるまで、あしたの良人の酒代を稼ぐのであつた。自分の身體に生傷をこしらへたり、苛責の毒舌をあびせる酒を、寐ずに働らいて、求めなければならなかつた。

――だが、さうした不合理な苦役も、しんしんと夜が更けて、愁殺もわすれ、悪癖もわすれ、心に念佛を置いて、一念に機をうごかしてゐると、その機の音は、いつか自分のかなしみを慰める音樂のやうに、一つの諧調を以つて、苦役とは思はなくなつてしまふ。

「さうだ……こんな時に」

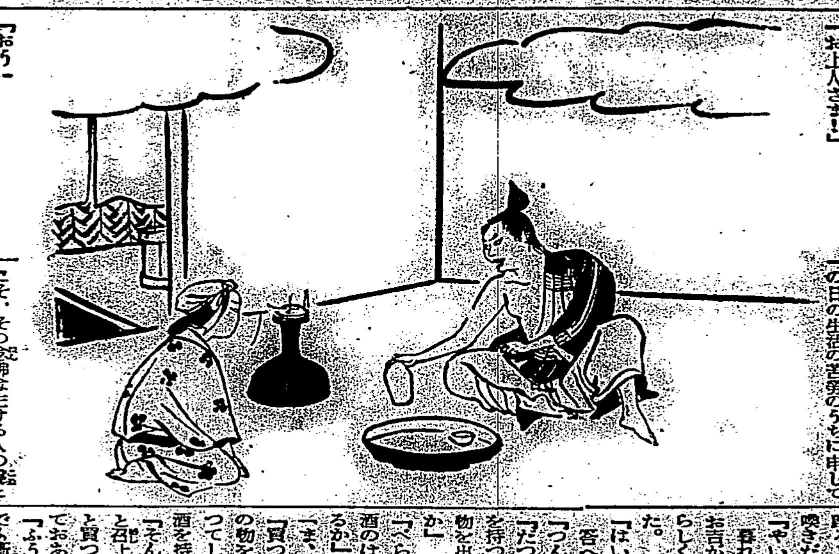
彼女は、そつと奧をのぞいた。良人の鼾を聞きすまして、彼女は肌着の奧から、何か大事さうに取り出した。――それはいつか宮村の親鸞上人が、彼女のために書いてくれた六文字の名號であつた。お吉はそれを、良人の眼をしのんで、小さい軸に仕立て、自身の心のまもりとして常に肌に秘めてゐた。

ふと、生きる力を失つた時、ただ獨りで泣きじやくりたいやうな時――お吉は名號を取り出して、それに掌をあはせる。すると、親鸞の慈悲にみちあふれた姿に會ふ心地がしてくる。親鸞の手にみちびかれて、無碍光如來の膝近くへ連れてゆかれる心地がしてくる……。

今も、彼女はそれを思ひ出したのである。すると、かたと、奧の暗い中で物音がした。お吉は、あわてて名號を卷きもせずに懐中へかくした。

「何を見てゐたつ？」

良人の平次郎が、いつの間にか恐ろしい形相を以つて、後に立つてゐたのだつた。



公開欄

▲本欄は投書者の自由論壇中傷は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名可、住所氏名は明記

嘉義市民は公正を期すべし

嘉義市　公民生

◇總督府の明年度豫算に西部築港費が計上されさうなので、嘉南州下でも、往昔から多少港灣を形成し船舶出入の歴史を有する土地は競つて陳情請願や運動を開始し、地方の發展、資源の獲得に熱中してゐる、之は地方を愛する至情の然らしむる所であつて、住民の義務としても當然の事である

◇併しここに注意すべき事は他から運動に參加する場合には之に先立ち、現今の船舶に對する知識、港灣修築の概念、沿岸各地との狀況等比較調査の上、確信を得たる後に於て宜々その優秀なる所以を發表し、所信を披瀝して眞に民衆的福利增進の上に最も適當なる土地に對してその實現に邁進すべきものである

◇然るに如上の調査や知識獲得には何等の顧慮無く、ただ漠然と地方的好題目として他に先鞭をつける意味から率先音頭を取るやうな事は、暗中物を探り萬一の僥倖を期待するやうなものでたわいのない事夥しい

◇近時、嘉南州下に於ける港灣運動を見ると海口は虎尾、北港兩郡に跨る適地と稱して居り、東石、布袋の兩港何れも東石郡下の適地たるを高唱してゐる、就中、東石、布袋兩港は嘉義郡下一市六郡總動員の大旆を樹て大々的運動を試みてゐる、この際に於て吾人嘉義市民の冷靜なる思慮と判斷が必要となつて來る

◇總督府が西部港灣の必要を認めたのは幾多調査を了したる結果であつて既にその地域も確定してゐるものではなからうか、幸ひ嘉南州下に決定を見たりとすれば州民の幸福利便この上も無い所と信ずる、而してその地域は海口、東石、布袋の何れかがその選に入るものとすれば、その實現の曉に於て嘉義市は關係と里程には多少の遠近はあるが何れも密接不離で幸福利便の享受には甲乙の無い實狀に在る

◇嘉義市民はこの點に深く留意し愼重公平の態度を持し一方に偏し他に悪感を與ふるが如き事は將來に禍根を貽すの惧れなしとしない、援助可なり、聲援可なるも嘉義市の環境と事情を思ひ擧手投足に深甚の注意を拂つて所謂衆愚の小慾に類せざるやう切望すると共に市民各位の自重と公正善處を希望す

今週の映畫

アメリカ二名畫の夕

三十日より新世界館

▲「薔薇はなぜ赤い」「麥秋」「結婚の夜」に次ぐキング・ヴイダーのパ社入社第一回作品で米國南北戰爭を背景とした南部の浪漫的な傑作である、米國映畫の見逃してゐた「土」と「家」の新しい詩が高らかに謳はれる「ビッグ・パレード」以來の戰ひ、抒情詩的、莊重なリズムでひた押しに迫る。キング・ヴイダーはいままで[illegible]取扱つてゐた[illegible]彼の詩情と感傷が全篇を流れ、名家の崩壊や、南方の平和な生活が美しく詠嘆的な詩情を以て描かれてゐる。そしてこれらの詩情を[illegible]彩な技巧の中にヴイダーはすばらしい感動を盛り上げてゐるのである

▲併映ではマーガレット・サラバン、ランドルフ・スカット、ウオルター・コリー等何れも好演技で演じて居る

▲同時上映は「暗黒街全滅」であるが之はGメン映畫の上に[illegible]感激で文字通りスリルの連續である　ブルース・キャボット扮する惡漢なるギャングがGメンに追はれて外科醫を脅迫し、グロテスクなメーキャップで[illegible]顔の整形手術を受けて[illegible]畫面一ぱいの[illegible]

新しき土　アーノルド・ファンク博士の映畫『新しき土』は着々進捗してゐるが日活から特別出演してゐる原節子の出來は素晴らしく、早川・小杉・英等と伍して堂々たる演技を見せてゐるが、ファンク監督は、彼女こそ代表的日本女優として世界にデヴューさせても恥しくない、歐洲でもきつと人氣を博するであらう』と折紙をつけ、伊丹監督も『將來日本を背負ふ大スター』と激賞してゐる（寫眞は早川雪洲と原節子）

最近著の雑誌

▲臺灣農事報（七月號）▲日本講演通信（第三百二十一號）▲川柳むさしの（七月號）▲旬刊彙報（第六十二號）▲法律新報（第四百二十九號）▲生命・[illegible]（第一輯）▲明倫新報（七月號）▲大亞細亞通信（第九十八號）▲大日（第百二十一號）▲日獨通信（第六號）▲書道世界（八月號）▲キング（臨時增刊號）▲婦人倶樂部（八月號）▲海運貿易週報（創刊號）▲演劇博物館（創刊號）▲反省（八月號）▲短歌研究（八月號）▲講演（第三百二十一輯）▲映畫創造（七月號）▲つはもの（第五百五十三號）▲帝國教育（七月號）▲國際觀光（七月號）▲本邦財界情勢（七月號）▲俳句研究（八月號）

大衆作家の『キング』増刊に一流揃ひで　は菊池、加藤、三上、白井、邦枝等どちらかと云ふと長篇作家として人氣のある連中が、揃つて短篇を發表してゐる

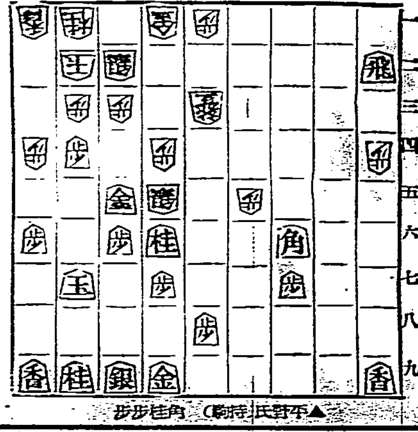
名家敗退將棋（其十）

溝呂木氏一回勝二回目

香落番　七段　△溝呂木光治
六段　▲平野信助

（圖は八四歩迄の局面）

△溝呂木氏　持駒　金銀歩歩歩



▲平野氏　持駒　角桂歩歩

△八四歩▲八三歩△同玉▲六五金△同歩▲七五桂△九二玉▲八三銀△七一金打▲九五歩△八二銀▲九四歩迄にて平野氏の勝

△溝呂木七段曰く　八四歩は八三歩と攻められ嫌な味もあるが、敵のなすままに任す以外に方法がありません

▲平野六段曰く　六五金には[illegible]の攻めを狙つてゐます[illegible]未だ堅いので先を取ればよいです、八三銀打ちには九五歩で簡單に宜しいと思つてゐたが相當に難しくなるので深く讀んで[illegible]三銀打、本手であるを發見した

◇大崎八段評　本局は溝呂木氏が四三銀と早く立つて[illegible]局面に變化を求め面白い[illegible]

平野君に誤らずあつた爲香の[illegible]苦んだは止むを得ない、何時もの說明する通り香落、駒落對局では下手に相當大きい誤ちのない限り駒落が勝くは言ふまでもない。[illegible]香落の如きは上手が簡單によくなるが如きはあるべき者がない、中盤以後、[illegible]駒損となり苦しみつつも其駒損きには何人でも御參考となるべきを最後まで[illegible]

よふんなアブラを調節して
まだらなヒヤケを防ぐ……

美化工作の要めは
標準的バニシングクリームを選ぶことです。▲簡單な方法は掌でバニシングを擦り合せて見ると今までサラッと伸ると思ひ込んでゐたものに肝腎のクリーム分が一部分に白くつくのみで伸びないのであります、これは乳化度が不充分か過度な證據で是れまで▲伸びたと感じたのは實は摩擦する爲に液分だけ分離したゞけでクリーム分は不均等に一部分の肌を覆つてゐるのです　マスターバニシングは▲皮膚科の醫學博士がアッと云つて驚嘆せられた位の最適の狀態に作られてをりますのでサラッと肌に溶け込みその上獨逸特許のスキン・ホルモン性部の作用で▲肌の新陳代謝を活潑にし▲ニキビ等皮膚障害を解消し▲肌の生々美を養ひ▲ヒゲ剃後▲化粧下等に第一等です

美容心得帖
困つた皮膚異變

夏！女性方を一等困らせる皮膚現象…夫れは夏季に多い過剰皮脂…この過剰皮脂を其儘にして置くと…

▲第一に化粧がアブラじんでくる、清新味がすくなくなります…

▲第二は容易に回復しない惡質な…しかも部分的な日ヤケを起すことになります…何うすれば其の心配なく夏季の小麥色肌を樂しめるか？

■最近美容術界にセンセーショナルな大發明として驚かれてゐる…活性特殊白味劑と云つて過剰皮脂だけを緩和に而も機積的吸收調節してくれるとても重寶な高貴美肌料を巧に複合粒子に包んで配合してある、マスター粉白粉やホームパクト（家庭用コンパクト）をお使ひになれば惡質の日ヤケを完全に防ぎ、化粧が何時も爽やか滿點でゐられます

■日光の紫外線を吸收する度と吸收した紫外線を肌へ反射する程度など西澤博士の科學的研究を重ねた佛國の最高級色素を應用してあるマスターの粉白粉は夏季特に衛生的に完全なことは申すまでもありません。

明示華北具體策之 用心中國民心

有田外相裁斷堪注目

東京三十日電。南京政府廬山會議結果。爲統一計。且出解決華北之擧已明。然果出何態度。則所注目。大體所料有二。第一西南合併。一擧使華北歸中央。此其傾向之將來。日華關係。有大危機。第二西南既決。所關華北問題。協調工作。捨此之時不之際也。再無他策。我外務當局之意。始終帝國對華政策。欲自主積極。不徒迎南京緩急二通方策。先就現下中國一般情勢。此際於南京未事華北工作。先示我確乎不拔之北華政策具體的且見解。明示南京政府。一掃中國民心之不安猜疑。立令其使華北明朗。南京政府。積極協力。目下頗有此議論。而有田外相。亦闡明照對華三原則。打開日華局面。日本北支的期華北明朗。促日華國交。得以邁進正常。今其裁斷。正屬時期問題云。

政友決定 進言政府

內外諸政策

東京三十日電。政友會。去二十九日。開總務。政務調查會役員聯合協議會。而由砂田會長。將近來總查內外諸政策。逐一報告。出席各員。全部披瀝所見。相與交換。究竟所欲進言政府。重在外交調整。行政機構改革。加以產業振興。社會政策等。以要望鞭撻政府。安藤總務。待草案成。近且提示政府云。

公使以下 其他平安

唯數人搜查中

東京二十九日電。西班牙革命所關。矢野駐西公使第一報。去二十二日。到外務省。其後消息。一切不明。本邦僑。安否堪憂。據二十九日。高岡二等書記官。自馬里德所發第二報。續到該省。因知公使館。及僑人等確實安全。漸展愁眉。即革命勃發當時。矢野公使。與高岡二等書記官。横田書記生家族。方在亂渦中之桑小避暑。與各國外交團。與馬利德。失其連絡。以至今日。然皆無事。馬里德公使館。目下有高岡書記官以下館員。並大阪外國語學校國澤助教授。外二名在。亦皆無事。唯鐘紡社員大貫氏。及秉田。谷兩留學生。安否不明。目下搜查中。高岡書記官。既求西班牙各當局。警備公使館。並保護僑人。又動亂前途。全然不明云。

太平洋會議 芳澤氏一行 啓程而往

東京二十九日電。來八月十六日。擬在加州約西美國立公園。開第十六回太平洋會議。芳澤元外相。一行坂西利八郎中將等。一行五名。二十九日午後。乘橫濱出帆太洋丸。望加州而發。將以出席云。

曹汝霖氏 辭冀察委員 辭表致宋氏

北平二十九日電。曹汝霖氏。表明冀察政務委員會委員辭意。二十八日。正式對宋哲元氏。提出辭表。宋氏直移牒中央云。

我軍演習中 俄密發銃 幸人無傷

新京二十九日電。據關東軍發表。二十六日午前六時二十分頃。東寧附近。有山本[illegible]。方張天祐演習。乃出蘇俄陣地。發射機關銃彈三發。及解機關銃彈十四個。落下命中。人員似無損害。唯實爲落下滿洲國領土。我軍共促蘇俄反省。並嚴重抗議云。

東京開否 競技委員會

卅一日或決定

伯林二十九日電。東京開否。最後運命。所繫之國際競技委員會。二十九日午後四時。開於伯林大學校內大講堂。本邦嘉納。副島兩氏。暨各國委員。相與參列。式既擧。德國黃色制服姿之奚斯無任所大臣。伯爾特。伯林名譽市長。體育長官奧斯珍。競技組織委員長黎特博士等出席。交起述歡迎辭。國際競技委員拉圖伯。以美法二國語答之。同五時三十分式終。又會議開至三十日午前九時。議第三一議題。議題第三次同大會開催問題。果成何物。據德國觀測。延期於三十一日。作日英芬三國委員胸中。或與如何。各國委員等。並入大講堂。加納。副島兩委員並見特有印象的感云。

西國新陸相 就任後下令 捕虜盡殺

馬里德二十八日電。西班牙新政府陸相拉巴妙那利氏。二十八日下令。叛軍捕虜。悉行銃殺。又新陸相。有語如左。諸捕虜。與食太過。政府軍食量不足之際。甚之無意味云。

島內航空一日實施 八月中爲慣熟飛行

發着東線月金西線火土

全島定期航空。本年計上豫算六萬圓。業已成立。現由遞信部。航空會社。極力準備中。高雄。花蓮港兩地離着陸場。經得軍當局之諒解。訂來八月一日。實施慣熟飛行。于八月中。值辨理貨物郵便。自九月一日起。始欲載取旅客。去二十九日由遞信部。發表內容如左。而受命者之日本航空輸送會社。在各現地準備清楚。

▲島內定期航空。一、開始期日。八月一日。一、搭載旅客。貨物。郵便（但八月中不載取旅客）一、區間及發着地。東線（臺北、宜蘭、花蓮港）西線（臺北、臺中、高雄）。一、飛行回數。東線一週二往復。西線一週三往復。（八月中二往復）。一、使用機。斯巴旅客機。一、所要時間。東線臺北宜蘭間三十分。宜蘭花蓮港間四十分。計一時十分。往復二時二十分。西線。臺北臺中間五十分。臺中高雄間一時十分。計二時間。往復四時間。一、發着時刻。東線每週月。金。往航。午前九時發臺北。同九時三十分抵宜蘭。同九時四十分發。同十時二十分抵花蓮港。復航。午前十一時三十分發花蓮港。零時十分抵宜蘭。同二十分發。同五十分歸抵臺北。西線每週火。土。往航午前九時發臺北。同九時五十分抵臺中。同十時發。同十一時十分抵高雄。復航零時三十分發。一時四十分抵臺中。同一時五十分發該地。同二時四十分歸抵臺北。一、乘員。一等操縱士及二等航空士石上至向。隨同訪勝義。一等操縱士久島嚴。機關士五味喜七諸氏。

▲速遞郵便辨理區域追加。一、臺中。彰化兩郵便局之郵便區市內及其互相間。一、臺南。高雄。屏東三郵便局之郵便區市內及其相互間。一、航空取扱料金（通常郵便物第一種）封書狀十五錢。無封書狀十五錢。第二種通常葉書八錢。封緘葉書十五錢。往復葉書（往信返信各別）八錢。第三種二十五錢。第四及五種二十五錢。小包郵便物一圓。超過定量每五十錢。

得見實現

依關係者援助

右據戶水遞信部長所談。醞釀案之島內定期航空。依關係各位盡力。及軍部支援。決定自八月一日開始。不勝一慶。然爲期航空安全。使諸操縱士。熟知航空路及臺灣之航空氣象。故不許旅客搭乘。僅載貨物郵便而已。按自九月一日辨理旅客。而對西部線。一週增一往復。且漸次整備加一機體。及充實乘員。以期將來之飛躍云々。

市尹郡守署長會議 日下知事激勵詞

並議臺灣軍指示事項

臺中州市尹。郡守。署長會議。二十九日午前八時十五分。開于州會議室。州府內務局則矢上屬。則日下知事。鶴內務。細非警務兩部長以下各課長並二市十一郡之市尹郡守署長。全員出席。高橋地方課長開會詞。次由日下知事。傳達日前地方長官會議時之中川總督平塚長官訓示。由是議指示事項更道振興所關件外十三件注意事項及臺灣軍指示事項。由各所管課長說明。質疑應答。最後鶴內務部長就臺灣國語協會。日下知事就處于非常時局之覺悟等激勵詞。午後二時四十分閉會。而指示事項中最爲議論焦點者。爲初等教育普及所關件中。于教育費問題。及掌實業教育之教職員養成。私塾風人格養成機關之設置。職員共濟組合問題。民風作興問題等。而臺灣軍之指示事項。由拔非彰化郡守。力說欲圖國防色被服之制定。州亦有十分研究。本會議恰有適應非常時氣分之緊張會議云。

臺中州神職 四日磋商

臺中州神職磋商會。訂來八月四日。午前九時起。開於臺中州正廳。會議題序。鶴內務部長敘證後。開始協議事項。一、[illegible]提出[illegible]成所關。二、昭和十一年度臺中州神職會事業。計畫所關。甲、敬神思想及印刷物之發行。乙、神祭巡廻講習會之開催。丙、祭式雅樂講習會開催。丁、敬神思想普及所關。映畫之巡廻映寫。三、寄贈金所關件。四、神棚及大麻之普及所關等。

全島糶賣市場比較 改善之餘地甚多

臺北卸市視察團座談會

臺北中央卸賣市場魚部蔬果部仲買人十數名。日前組織視察團。遍觀全島食料品糶賣市場。歸北後於去二十九夜七時。在蓬萊閣。開座談。披瀝其感想。卸市中村主事。中央市場株式會社陰山常務。佐藤支配人。老山市書記等臨席。先由黃白成技氏叙證。次各起陳述感想。綜合大要如左。

▲臺中市場。糶賣公正。不似某地有暗中以指示委託者。貨物階級分別明瞭。且有保護。荷受組合處理親切。此市場似爲全島之最完全者。

▲高雄市場。[illegible]運河[illegible]甚便利。因築港中。魚船不來。魚多由高雄配到。買賣雖有制限。一年却多至七十萬圓。比前之無制限時倍多。青物有消毒。[illegible]呼多屆。不如臺北之迅速。他人名義買賣。箱價五錢。低於臺北二錢。施設制度與臺南並居於上位。

▲屏東市場。蔬果爲主。魚極少數。糶賣時間亦遲（午前七時起）。入場有制限。不得混入。市場狹隘。一賒欠者。仲買人中。有仲買人保證金二百圓。無希望該地特產木瓜。欲與臺北特定仲買人交易者。

▲臺南市場。魚市場在臺南[illegible]糶賣時間甚遲。仲買人有事故時。其子或兄弟得代入。手數料二錢。其低廉居第二位。臺北最廉。

▲嘉義市場。未設仲買人組合及荷受組合。委託賣委託而已。貸付倒盤不少。諸施設似未備。買少者多配當。買多者少配當。行社會政策。青果多與臺北市場外之人買賣。有希與臺北市場內有信用者直接交易。

▲新竹市場。無組合組織。

黃白成技諸氏。各有結論。略謂希。仲買人及糶賣改善。即唱賣欲以三四聲決價。仲買人數制限。組合希望乘業。物貨不可錢路。結托買賣宜廢。糶場另闢。最後引率者老山書記。最後中村主事。辯解多聲唱賣。乃代擁護生產者云々。此等研究材料。將由黃白成技氏稱寫。提供卸賣市場。以資研究云。

羅東街轄 保甲會議

羅東街保甲會議。去二十九日午前九時。開于同保甲事務所樓上。是日出席者。有國井警部補。月田及伊藤兩巡查部長而外。保甲役員百三十餘名。席定。洪阿樹氏。就議長席。林阿介紹新保正盧瑞榮。林阿昧。陳招松及黃承爐諸氏。次附議羅東神社方面。須要昇設電燈。及自協和製材所。至舊林所道路。希當局增加撒水。並阿束社附近。因道路狹隘。恐生出交通事故。熱望同附近危險家屋。須要撤廢。次決議對羅東街羅東。林氏何分。因違反保甲規約。處過怠金五圓。及對救溺死者之羅東公學校諸教員贈表彰金五圓。次月田部長。伊藤部長。並國井警部補。一場講話。至午前十一時半。盛況裡閉會。

冬山庄協和精米所 火災損失近二萬圓

壯團勇敢撲救負傷一名

羅東郡冬山庄冬山百九番地。游石米。所經營之協和精米所。去二十八日午後十一時。突由厝蓋發火。燃及屋柱。火焰冲天。被過路人發見。急爲報出。未幾冬山庄役場。及冬山派出所。各吹鳴報時機。及打警鐘。通知住民。出爲消火。一面金原郡警察課長。緊急登廳。派長警務主任。及國井警部補。指揮巡查及羅東消防組員。並冬山壯丁團員。從事撲救。而羅東消防組員。亦乘最近新購入之消防自動車。馳到現場。與巡查及壯丁團員。協力撲救。至翌朝一時。始得鎮火。幸不延燒鄰家。及損失人畜。又安部刑事主任。亦到現場。調查起火原因。及被害額。探聞原因。係由土礱間屋蓋發火。認爲漏電。又一戶四棟木造之精米工場。皆歸烏有。其價格有六千圓。其他損害倉庫內之粟三十袋。及種々器具。結局損害額。近一萬圓。壯丁團員登上屋蓋。從事撲火中。被火傷一名。皆均于自宅治療。並無生命之憂。住民。皆稱賞壯丁團員之勇敢也。

北港建購 先開發起人會

北港街[illegible]蘇顯藻氏外九名[illegible]爲發起組織北港建築購買販賣利用組合。去二十七日午後八時。假北港產米改善協會長王吟貴氏家。開發起人會。與左記諸氏爲役員。籌備創設諸事項云。組合長王吟貴。專務顏木杞。監事蔡良成。蔡山川。蘇國虎。理事吳彰德。呂人潛。顏大枕。蘇顯藻。林麗明。

七十二老媼 日數積款 險至失去

新豐郡永寧庄灣裡。鄭對之家。去二十七晚深夜。遭巨金失竊。翌朝急報于該地派出所。轉達諸郡警察課。村島司法主任。立偕值班刑事。至現場檢查。到時則該款已查見。郡意必係其家人所爲。乃召鄭對訊問。然鄭之家族多至三十餘人。如欲一一審訊。大覺棘手。第其被盜原因。恐係家人戲謔。蓋鄭有母。鄭李氏蕊。年已七十有二。平生吝嗇。自幼積得現款五百二十六圓。而對子女。一毛不費。日須出所藏款。數之以爲樂。失竊之夕。方於數時間前。取出數後。始就寢。比覺欲再取觀。則已不翼而飛。於是大駭。幾不欲生。幸警官至。乃於其隣宗發見。諒爲家人惡作劇云。

復爲辨當所中毒 在彰化蔗作座談會

小山市尹等四十餘名罹病

彰化市郡蔗作獎勵座談會。去二十七日。開於公會堂。有小山市尹。及吉田市勸業課長。拔井郡守。北江島蔗務課長。楊木勸業主任。暨各街庄長等。約四十餘名出席。而出席者。均於是夜。腹痛嘔吐。翌二十八日。缺勤者續出。至二十九日朝。始各勉強出勤。查其罹病原因。爲是日晝食之辨當所中毒。蓋當日晝餐。延至下午二時半始食。且在夏季。細菌較易醱酵。而中毒原因。料爲大蝦及卵煎。但皆輕微。既即全癒云。

兩兒童陷溺 遇救不死

林冉完君義勇

蘇澳郡蘇澳庄蘇澳字阿里史人陳桂枝之弟陳阿碧。年十二。去二十九日過午。與群童。游泳于蘇澳白米溪海濱。誤墜深窟。群童中。有名陳阿牛者。年十六見之。急往救之。頸部及手腕部。竟被阿碧双手攀住。不能自由游泳。兩名正在一沈一起之間。適被臺灣運輸會社蘇澳營業所主任。伊藤吉喜氏發見。立大聲呼救。其社員林冉宗君聞之。不及脫衣。躍入深處。將兩名兒童一齊拯起。兩兒童遇救後。顏色蒼白。俄頃始無事歸去。其時適逢兩巡查通過該處。聞知是事。欲爲手續報告上司。林君力言區々之事何可言。兩巡查乃作罷論。林君之見義勇爲。誠可嘉也。

慘殺情婦案 懲役八年

本年二月二十八晚。高雄州旗山郡杉林庄臨丁寮。發生之慘殺情婦黃氏連妹一案。凶手同庄人朱福華。年三十七。以殺人罪被拘。本月二十二日。在臺南地方法院刑事合議部。由松尾檢察官。嚴烈論告後。求刑懲役十年。至二十九朝九時。仍在該院。經波多野裁判長主審。岡。西尾兩判官陪席。宣判懲役八年結案。

一家三人先後死亡 料爲贅婿置藥毒殺

已解剖屍骸並鑑定藥粉

去二十八日午前五時半頃。新營郡柳營庄果毅後人黃得原之長男川中。服健腸漢藥。突然腹痛。苦悶而死。其家飼一犬。偶食川中吐瀉之物。旋亦斃命。報告于該郡警察課。隨龍山警部補。趕到現場勘驗。發見屍骸。偏身呈紫色斑點。疑爲毒殺。乃拘致家贅婿邱保堂。年二十三。及遺族一同。嚴重懇詰。據家人供稱。乃知去十日午後六時頃。被害者黃川中之妻。用豚肉和猪腰。使其夫川中。及得原之孫黃氏碧雲。年三。黃碧昭年一。三人共餐。食後均腹痛不已。碧雲及碧昭。一于十一日午前八時。一于十二日午前八時。相繼死亡。唯川中獲免。乃以中毒致亡報出。隨即埋葬。爾來川中。日服健腸漢藥數次。漸次恢復。將至全癒。去二十八日朝。照服藥。竟斃其命。該郡警察課。既查明事實。乃以贅婿邱保堂。爲被疑者。嚴重追究。然尚緘口不吐。據聞渠於前月。始入贅該家。或者爲欲利讀該家財產。乃將其相繼人。以劇藥毒殺。亦未可知。去二十九日午後。將川中及犬之死體。附諸解剖。又在其家中。發見有毒物作藥粉。現託嘉義醫院鑑定中云。

世界最高登山失敗

被強烈季節風礙繼續進行

屬五次失敗嗣須改變路由

[illegible]魯特萊治。企圖戰勝世界最高之尼泊爾常住山峰失敗後。倫敦人士。大爲失望。該[illegible]爲世界之嶺。高出海面二萬九[illegible]二一百四一呎[illegible]敗之原因。乃由強烈之季節風。[illegible]以致之。[illegible]被阻。而企可信者。前數次攀登比最高峰之企圖。乃在一九二一、一九二二、一九二四與一九三三年[illegible]最後一九三三年[illegible]

鶯歌

警所墻垣

海山郡下鶯歌警察所建築。自前年時因經費不足。前面墻垣不得同時建造。近來市上益見殷賑。是因保甲會議。由會長提案經費一四百五十圓。著手建造。業經告成也。

謀建劇場

海山郡下鶯歌。有林田安鄭乙[illegible]

土城青團幹部 視察野宿 拜觀艦隊

海山郡土城青年團幹部十餘名。此回組織聯合艦隊拜觀視察團。由團長張商洪氏引率。訂來八月一日午前五時。各乘自轉車出發。直至瑞芳庄九分。視察金鑛製煉所。及其他教育的要所後。在其處野宿一夜。翌二日到基隆。拜觀聯合艦隊。並觀覽名勝古跡。按午後四時歸城。

大屯農業講習

大屯郡教育會主催。農業實科講習會。來八月三日起。至九日。七日間。將開於州立農事試驗場。講習員。係郡下各公學校長農業主任。及五年生以上之擔任教員。講習科目。乃稻作。米作。麥作。肥料。畜產。農業經營諸科云。

屏東

陳[illegible]等氏。採建築案於屏東[illegible]九六番地。建築費擬八千圓。租地難題。得角田部長盡力。極告完滿解決。現正申請手續中云。

開業宴客

既報屏東市孔大炎氏長男孔[illegible]君。爲開業辯護士。選定去二十八日午後七時頃。開於[illegible]春德三階上。刻至。大國屏東市助役。瀧口署長。暨一般人士。無慮三百餘名。著席後首由孔氏奇梓。起對一同致謝。並述謝辭。次大國助役。伊江牧師。劉[illegible]等氏。先後祝辭。宴開。賓主盡歡。至九時許。盡會極散。

張宴慰勞

屏東市屏東信用組合。爲邀求滿代吉以來。去二十九日午後六時頃。開宴於第一旅亭。招待選舉當日之管理人。及立會人。並該組合役職員。以慰其勞云。

會事

▲海山郡板橋公學校第二十五回乙組同窓會。訂來八月一日午後六時起。開于當地津香亭料理店樓上。會費金一圓。當日現交。

▲北港公學校第二十五回卒業生同窓會。訂八月二日午前七時。開于郡下三條崙海水浴場。

人事

▲萬華辯護士陳有福氏。去二十九日[illegible]

雜談

尹文端公生日

尹文端公誕辰。其生母乃相國尹泰側室也。相國[illegible]。文端既登兩江。夫人[illegible]。世宗從容問曰。汝母曾受封乎。上曰。[illegible]及以嫡母受封。汝母曾受封乎。公免冠叩首。將有所奏。上止。疾知汝意。汝庶出也。汝母未封。謝恩出。比歸私第。相國怒曰。汝欲尊汝所生。未得我而遽奏上。乃以手杖擊之。墜孔雀翎。徐夫人爲制休。取象各四人。捧袍。執花。至相國第。扶夫人榻上。代爲梳沐。衣飾嚴整既訖。八族命婦。絡繹而至。環夫人相賀也。頃之。滿漢內閣學士。捧聖旨。高呼宣讀曰。大學士尹泰。非藉其子。不得入相。非側室徐氏。繼善何由生。著勅封徐氏爲一品夫人。尹泰先肅謝夫人。再如詔行禮。宣畢。四宮娥扶夫人南面坐。四金監引相國拜夫人。夫人欲起。四宮娥強持之。不得動。既乃宣行夫婦合卺之儀。執事者始回朝復命。

商況（三十日）

米況

正米市況前場

[illegible]

期米

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戶期米前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

東京株式前場

[illegible]

大阪株式前場

[illegible]

東京實物賣買株

[illegible]

外國爲替

[illegible]

神戶對外爲替

[illegible]

銀塊

[illegible]

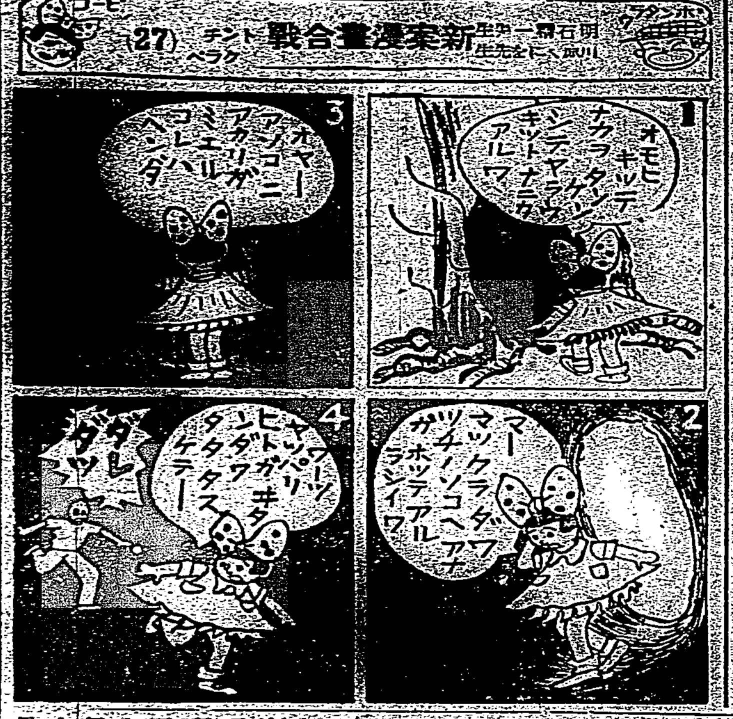
綿況

大阪現物

[illegible]

大阪定期

[illegible]



新案漫畫合戰 (27)

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁

編輯兼發行人 佐々木[illegible]

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙 一部五錢 一ヶ月 [illegible]

廣告料 [illegible]

振替口座 [illegible]

電話 代表番號 [illegible]

商業登記公告

●美與合資會社（追加）昭和拾壹年七月貳壹日解散、同日臺北市大龍峒町壹六貳番地王[illegible]清算人ニ就任

●合名會社日之出商會（追加）昭和拾壹年七月貳貳日解散

●合資會社基隆通關組（追加）（支店）昭和拾壹年七月九日解散、同日基隆市義重町貳丁目拾壹番地中原[illegible]清算人ニ就任

●臺北興業株式會社（變更）昭和拾壹年七月貳八日、取締役西岡英夫重任

●株式會社彰化銀行（變更）（支店）昭和拾壹年七月貳四日、取締役[illegible]重任

●[illegible]株式會社（變更）（支店）取締役吉田羽次郎 昭和拾壹年七月貳壹日辭任

●[illegible]火柴合資會社（變更）昭和拾壹年七月拾七日、無限責任社員[illegible]出資額中ヨリ社員[illegible]ニ各金壹千百拾貳圓宛ヲ讓渡シ双方各出資額ヲ金六千六百六拾八圓ト變更

右昭和拾壹年七月貳九日登記

臺北地方法院

●合資會社新復珍商行（變更）昭和拾壹年七月貳拾四日總社員ノ同意ニ依リ目的ヲ[illegible]及日用雜貨[illegible]ノ販賣及[illegible]同社員[illegible]ノ[illegible]、同月總社員ノ同意ニ依リ無限責任社員[illegible]金四千五百圓ヲ增資シ[illegible]

右昭和拾壹年七月貳拾七日登記

臺北地方法院新竹支部

●株式會社臺灣銀行（變更）支店昭和拾壹年七月貳拾七日臺中州彰化市彰化字東門[illegible]番地ノ[illegible]支店ヲ同所百九拾番地ニ移轉ス

右昭和拾壹年七月貳拾八日登記

●株式會社彰化銀行變更（支店）取締役[illegible]昭和拾壹年七月貳拾四日各重任ス

右昭和拾壹年七月貳拾九日登記

臺北地方法院桃園出張所

●株式會社[illegible]銀行變更（支店）昭和拾壹年七月貳拾七日彰化支店所在地ヲ臺中州彰化市彰化字東門百九拾番地ニ移轉ス

右昭和拾壹年七月貳拾八日登記

臺北地方法院宜蘭支部

●產業組合設立公告

名稱 保證責任桃園信用購買利用組合、事務所 桃園郡桃園街桃園字[illegible]

[illegible]

右昭和拾壹年七月貳拾九日登記

臺北地方法院桃園出張所

株券失效ニ關スル公告

株券番號第六拾壹號、舊住所基隆市草店尾[illegible]番地、新住所基隆市玉田町貳丁目八四番地、株主[illegible]

右株主ニ對スル龍泉飲料株式會社第貳回株金拂込ニ付商法第百五拾貳條ニ定メタル手續ヲ經ミタルモ其ノ拂込ヲ爲サズ商法第百五拾參條ニ依リ右株主ハ前記ノ株券ニ對スル株主ノ權利ヲ失ヒタリ

昭和十一年七月三十一日

臺北市新富町五丁目[illegible]番地

龍泉飲料株式會社 取締役社長 吳[illegible]

第三十四期營業報告

自昭和十一年一月一日

至同年六月三十日

貸借對照表

（昭和十一年六月三十日現在）

負債之部（貸方）

科目	金額
株金	[illegible]
借入金勘定	[illegible]
法定積立金勘定	[illegible]
特別積立金勘定	[illegible]
未拂金勘定	[illegible]
假受金勘定	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資產之部（借方）

科目	金額
土地及建物勘定	[illegible]
機械勘定	[illegible]
軌道勘定	[illegible]
工具及器具勘定	[illegible]
原料勘定	[illegible]
貯藏品勘定	[illegible]
商品勘定	[illegible]
取引先勘定	[illegible]
受取手形勘定	[illegible]
假拂金勘定	[illegible]
銀行勘定	[illegible]
現金勘定	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通リニ候也

昭和十一年七月三十日

臺北州七星郡士林街

臺灣製紙株式會社

改正臺北市全圖

定價金壹圓

臺灣日日新報社 商事部

外交時報

八月上旬號

每月二回發行・一冊五十二錢

- 統一支那の對日外交……半澤玉城
- 動搖する國際聯盟……東大教授 安井郁
- 半身不隨の英國外交……橋山義太郎
- 聯盟改造と力の保障體制……田代和泉
- 米國の汎米大陸政策……法學博士 和田頴純
- ソ聯邦の日本包圍政策……大平進一
- 伯國アマゾンの地權問題……桑原忠夫
- スターリン憲法の批判……中山貞雄
- 滿洲の外交……經濟學博士 阿部賢一
- 新疆を繞る最近の國際紛爭……三島康夫
- 日支關係の打開に就て……外務省東亞局長 桑島主計
- 日支關係の末期的段階……中山優
- 支那貨幣權を狙ふ米國……原勝
- 四國條約九國條約の回顧……陸軍少將 古城胤秀
- 支那國民經濟建設運動……長岡克曉
- 第六回太平洋會議に就て……田村幸策

外交時報社

東京丸ノ内・振替東京五一八六六

大阪商船 基隆出帆

門司・神戸行 [illegible]

福州上海行 [illegible]

廈門・香港・汕頭行 [illegible]

福州廈門行 [illegible]

鹿兒島・長崎・博多・北鮮行 [illegible]

大連天津行 [illegible]

神戸行 [illegible]

蘇澳・花蓮港・新港・臺東行 [illegible]

高雄・廈門・比律賓行 [illegible]

西貢・盤谷行 はたびや丸 [illegible]

上海經由 東海丸 八月七日

タワオ・爪哇行 かなだ丸 [illegible]

（南洋海運）

◎高雄出帆

馬公行 壹岐丸 [illegible]

廈門・汕頭・香港・廣東行 福建丸 [illegible]

東京直行 恒春丸 [illegible] 彰化丸 [illegible]

其他船便多數アリ 基北二三八五〇

近海郵船 基隆出帆

門司・神戸行 吉野丸 八月三日前十時發

朝日丸 八月八日前十時發

大和丸 八月十二日前十時發

上海・内地行 山上丸 八月十六日前九時發

白山丸 [illegible]

香港・歐洲行 伏見丸 八月廿一日後四時發

辰馬汽船 出帆

内地行 桐葉丸 八月七日

大連汽船 基隆出帆

大連直行 東丸 八月八日前十時發

山西丸 八月十九日前十時發

代理店 山丸一組 [illegible]

強力榮養葡萄酒

赤玉ポートワイン

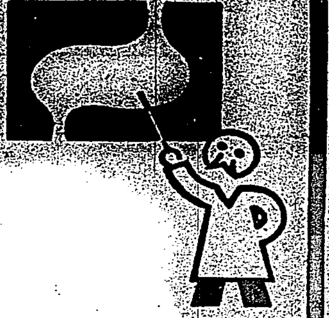
太る爲には二重の効果がある　少量でよく榮養となるだけでなく又胃液の分泌を昂めて喰べた物をよく身につける働きがあるからだ！

醫界の諸權威 五十 醫學博士 より御推奬狀を賜はる

優良葡萄酒●成分は葡萄糖・果糖・無機鹽類等

皮膚病に

アスター


蛔虫ハ胃・腸・心臟・肺ヲ廻ル

虫下し

マクニン

ヨク効いてのみやすい

[illegible]

冷却機械

前川製作所

[illegible]

特約店

臺北市 三生洋行 電話臺北五八七番

臺南市 三生洋行 電話臺南[illegible]番

臺中市 丸三藥房 電話臺中一三番

臺東街 木下菊生堂 電話臺東一四番

製造元・帝國製糖株式會社

蜂・毒蛇・南京蟲・ムカデ・蚊等にも是さへあれば

（說明書進呈）

大金包 五拾錢　[illegible]

京都寺町姉小路

鳩居堂

食後についも
アペチン錠

胃腸病 治療劑

夏期の 食慾 [illegible]

身心の變調を來し易い盛夏を向へて、胃腸を強健に保ち食慾を盛んに、消化を良好に、便通を順調にし、同時に榮養を充實して酷暑に負けない体力を培ふ事は極めて肝要です

消化され易い蛋白質、脂肪、多量のビタミンB並Dの基源物質、植物性インシユリン様物質、グリコゲーン、ヌクレイン、レチチン、カルシウム、鐵……等。

胃腸 アペチン錠は右の様な多種の有効分を綜合含有しますから、その作用も極めて普遍的で、成分の偏した從來の胃腸藥の樣に症狀次第で使ひ分けをする必要がなく、すべての胃腸症狀に對し家庭でも安易に服用出來るのを特長とします。

アペチン錠は強力な細胞賦活作用により胃腸の働きを旺盛にし消化液の分泌をよくし、消化管の緊張度をたかめる結果、特に夏期に於て衰へ勝ちの食慾を振起する外消化を助け便通を調整します。

榮養 尚ほアペチン錠の含有する上記の豐富な有効分は病弱や衰弱体の榮養をすゝめ抗病力を涵養して酷暑への征服力を齎らします

夏期に於けるアペチン錠の服用は、胃腸の強化にも抗暑の体力涵養にも極めて効果的です

武田發賣品

アペチン錠

發賣元 株式 武田長兵衛商店 大阪市東區道修町

關東代理店 東京 株式 小西新兵衛商店

定價 至廉

普通錠（[illegible]錠）[illegible]

約一ヶ月分 [illegible]

約三ヶ月分 [illegible]

帝國海軍と沈默の威壓

聯合艦隊の臺灣巡航を迎ふ

一

わが譽れ高き聯合艦隊は、久方振りにて臺灣に雄姿を見、その中高橋聯合艦隊司令長官の坐乘する旗艦長門以下主なる第一艦隊の艦艇は、本日を以て基隆に來着、八月四日の出港まで約五日間は臺灣に於ける官民との交驩裡に歡待見學及び休養等に費さるると聞く、此機會において吾等此地にある帝國臣民は、擧つて双手を擧げ、心からなる歡迎の誠意を披瀝せんとするものである。

二

先頃は第三艦隊の一部が澎湖に來航し、今また第一艦隊の一萬數千名を數ふる將兵を迎へ、更に第二艦隊また馬公並に南部臺灣を巡航、期せずして帝國の聯合艦隊全艦艇の本島來訪を見る事となり、世界大海軍國としての帝國海軍の威容に接し得ると共に「海の勇士」を迎ふる國民的歡喜は、一種名狀し難きものあるを覺える。日本の地形が北より南に長く伸び、恰も海上からアジア大陸を抱きかかへて其防衛に當つてゐるかの如くであることは興味深き比喩であるが、而も同時に帝國海軍は此地形にある帝國の海上よりする國防を分擔し、西太平洋をして[illegible]させないといふ重き使命と鞏固なる信念とを堅持するものであつて、此重大使命の一斑に想ひ至つても帝國海軍に對する尊敬と信頼とは國民の間に無條件一致を見るものでなければならぬ。

三

この機會に、國民が吾等の海軍に對し日常抱いてゐる感銘や印象なるものを有りの儘に述懷し、聊か歡迎の言葉に代へたいと思ふ。帝國海軍の傳統は、「沈默提督」の稱があつた故東鄕元帥の風格を自ら想起させるものがあり、國民信頼の情を一段と高からしめてゐる、このためか吾が海軍は常にサイレント・プレッシュア即ち「沈默の威壓」を志して默々として其の爲す所を爲し、守る所を守つてゐる。而も此沈默の威壓にこそ、戰はずして勝つの秘訣を中に藏するものであつて其意義や眞に深遠である。之は青海原の「沈默」から學び得たものかも知れず、又海上防衛の立場から來る自然の沈默かも知れないが、兎に角之に依て國民信倚の念が一層高まつてゐる事は紛れもない事實である。

四

帝國海軍の現在における實勢力は、今年中に倫敦海軍條約の制限を受ける事になつてゐるので、英米海軍に對し大體に五・五・三の比率になつてゐるが、然し他面に日本海軍のみが持つ强味が確保され、その點に於ても國民は意を安んじ得るのである。勿論主力艦に於ては日本の廿七萬二千噸に對し米國の四十五萬五千噸、英の四十七萬四千噸で的確なる五・五・三の比率たる四十五萬三千二百噸より幾分超過はしてゐるが、その代り他の艦艇において吾が海軍の優秀性が維持されてゐる。航空母艦に於ては英が日米を拔き、日米間には一萬四千噸程度の差を見てゐるが、甲級巡洋艦は、日本の十二隻十萬噸に對し、英米は十五隻十[illegible]千噸といふ數字である。

五

かくして帝國の現有勢力は、大體に二百隻、七十五萬噸であるが、之に對し米國は二百五十隻約百萬噸、英國は亦約二百隻百二十[illegible]五・三の比率を無理に與へんが爲めに作られた數字であるかの感を與へる、例へば英國の如き既に艦齡に達したものが二百五十隻も加はつて居り、更に帝國海軍には吾[illegible]として共通する研究創出の要あり、西太平洋並に極東海面上の防衛は眞に金城鐵壁たるを想はしめる。吾等はこの多望なる帝國海軍の將士を蓬萊の地に迎ふるを得るのだが、時適々炎熱の季節であり、珍客を陸上に迎ふるに氣の毒の感切である。けれども巡航先の官民は何れも及ぶ限りの力を盡し誠を傾けて歡迎の誠意を表はすものと信ずる。「臺北海面」の要もある折柄南方に位する臺灣住民が、聯合艦隊を久し振りに迎へたる歡びの特に無限なるものあるは蓋し當然の事と言はねばなるまい。

政友會の國策案 愈よ政府に手交

國政の各般にわたり 根本策確立を要望す

【東京三十日發】政友會では過般來廣田内閣に對する國策進言要綱案を作成中の所三十日の總務會に於て正式決定、依つて安藤幹事長は三十一日廣田首相を訪問大要左の如き國策進言文を手交する事となつた

一、**外交の調整** 外交は國策の大なり、殊に現下の情勢に於ては國運の消長に關すること最も大なり、國防、財政、產業一つとして外交國策に照應せざるものなし、故に政府は速かに根本方針を確立すべし

二、**諸制度の改革** 政府は徹底的に內閣制度、地方制度を通じ立憲責任政治の徹底を期し全國民意の暢達を計り自治目的の實質を充實し人材を適用し行政を簡捷にして以て國民の福祉を增進すべきである

三、**產業の振興** 國防の充實と並んで產業を振興し其の兩全を徹底するは我が傳統の政策なり、政府は速かに國策の大本を基準とし統一調整せる產業政策を確立すべし、貿易の均衡、國際の調節、財政の改革、負債整理は斷行すべし、年々全國に起る各種災害の防止は產業振興上の重要問題なるを以て其の災害防止策を確立すべし

四、**社會政策の普及** 國民に政策を普及し國家に對する感激の念を深からしめ精神的並に物質的に不安を芟除[illegible]せしむ

ユレネフ大使が 外相と重要會見

北鐵問題、警護問題等に付 彼我の間に應酬

【東京三十日發】ソ聯邦大使ユレネフ氏は三十日午後四時外務省に有田外相を訪問、滿洲國政府の北鐵從業員に對する退職慰勞金支拂停止を理由に日本政府の支拂保障の履行を要求した、之に對し有田外相は北鐵讓渡協定のバランスシートに記載されざりしソ聯邦側の債務が其の後續々發見されたに拘らずソ聯邦側は之が支拂を行はざる以上、滿洲國政府が北鐵從業員の退職金の支拂を一時中止し居ることは極めて當然の措置であり帝國政府は寧ろソ聯邦側の善處方をこそ要望するものである

次でユレネフ大使は昨日ソ聯邦大使館は東京にて日本官憲のため極めて差別的な取扱ひを受けて居り警護に名を藉りた不當な取締りと壓迫の事實が存在するとて之が取締り緩和方を要請した之に對し有田外相は差別的取扱ひの存在するといふが如きことは到底考へられぬ所であるとこれを一蹴し、ただモスクワにある帝國大使館がソ聯邦官憲のため監視されて居る程度の警護は兩國關係の現狀から見ても必要な事であり相互主義の精神に依つて此の問題は善處すべきであると强調した、最後にユレネフ大使は本月十六日我方より提示した滿ソ國境調整に關する兩委員會原案をば充分に檢討した上目下モスクワ政府に對し請訓中なる旨を述べ近く何分の回答を致すべきを約し同五時辭去した

臺灣の化學工業・座談會 ⑪

アルコールが バガスからとれる

一噸から約七斗

濱口 糖蜜から蛋白質を拵へたり、アルコールを拵へるのはドイツのホルスタインですか、あそこで工場を拵へてやつてゐる筈です

加福 バガスからもアルコールが取れる

濱口 どれ位出來るのですか

加福 一噸から七斗出來ます

濱口 安く出來るのですか、バガスの利用法としては面白い方法ですが

市川 バガスの値段は一噸約四圓五十錢ですから、從つてアルコール一斗が六十四錢で出來る譯です

濱口 それはべらぼうに安い

市川 隨分値段は廉價ですが、五十二パーセントとしてであります、それを基にして斯うなるので人件費等は全然入つて居りません

濱口 安過ぎますね、甘藷とか澱粉の原料は問題にならない

濱口 先程の中澤さんの話には當面の問題としては仲々よい、永久に日本で考へなければならぬ

徳岡 中澤さんにお尋ね致しますが酪農業が盛んになつたら、醱酵して出たガスの利用と云ふ樣な事は如何ですか

中澤 今の所考へて居りません、相當に經濟的に扱へば廢棄ガスが採れる筈で、之はコンプレスしてドライアイスにし[illegible]も出來るし油に戻す試驗もされてゐます

徳岡 アメリカではブチルアルコールを自動車の塗料に使はれる譯ですね、ガスは水素が[illegible]

野副 バガスからかなり取れるそうではないですか

野副 [illegible]し、又木材からもいくらでも取り得るペントースに全然醱酵させることが出來ないのですか

中澤 醱酵しない

野副 發酵價値は[illegible]居ますがどんなものですか

中澤 發酵價値はあるが醱酵の方はどうもいかん……

加福 食用としてはいかんが、水素添化したらガソリンが出來ないか

市川 バガスから酒精を製造するときの副產物であるリグニン質は五千二百カロリーの熱量があります

加福 次はインダストリーを中[illegible]

服部 [illegible]

[illegible]のは產額の上から見てどの邊に位してゐるかと云ふと大體日本の工業で工產額が一億圓以上のものは非常に少ない、何と云つても冶金工業が一番で非常に大きな數字ですが冶金工業は六億圓と見てよい、その內鐵と鋼鐵を合せて四億圓、鐵鋼以外の總ての金屬が二億圓位、その次に出るものは酒だらうと思ひます、淸酒が三億圓近いだらう、隨分よく飲むものだ（笑聲）それから砂糖です、之は[illegible]だけでも一億五六千萬圓になるでせう、之と匹敵するものが[illegible]事業、これから人絹の一億二千萬圓と云ふたものです、セメントは昭和十年には一億圓に達し[illegible]

座談會出席者

中研技師理博	加福 均三
同上農博	中澤 亮治
同上	服部 武彦
同上	市川 信敏
帝大教授理博	松野 吉松
帝大助教授	中塚 佑一
同上	野副 鐵男
帝大教授農博	山本 亮
同上農博	三宅 捷
帝大助教授	徳岡 松雄
帝大教授	濱口 榮次郎
專賣局技師理博	池田 鐵作
天然ガス理博	小川 亨

日東拓殖農林會社 いよいよ創立さる

臺灣の出張所も當然變革 人事關係も決定す

國家的見地から 三井合名の合理化

[illegible]れて企業經營の合理化を圖る事となり從來三井合名に包含されてゐた如く合名の事業中から拓殖、農林の分を分離させ、資本金一千萬圓の日東拓殖農林株式會社を去る七月二十五日を以て創立した、此新會社には臺灣出張所、朝鮮農林事務所、北海道[illegible]農場及び岐阜縣美濃の山林等の諸事業が綜合され、取締役會長には三井合名常務理事たりし島田勝之助氏が就任、常務取締役には日野水忠作氏の外舊三井合名臺灣出張所長大島京助の二氏が當り監査役は香川季三郎氏、而して新會社成立と同時に舊三井合名の農林關係社員等は解職となり八月一日付を以て改めて全部新會社の社員に採用さるる筈であると、臺灣の新出張所は、八月一日以後は日東拓殖農林臺灣出張所となる由であるが、同出張所の正社員は約十五名、雇員傭人百餘名、全臺灣に働く者は一萬人を越えてゐると斯く三井合名が拓殖農林方面の企業を國家的見地から合理化して行くことは一般からも注目されてゐる、新常務大島臺灣出張所長は、八月一日頃歸臺の筈であつたが之は業務組織のため來月十五、六日頃に延びる由

ブラジルの土地問題 政治問題化す

既得權の擁護に 邦人は懸命の努力

【リオデジャネイロ二十九日發同盟】ブラジルのアマゾナス州における邦人土地權問題は既に上院憲法問題委員會並に同權限調整委員會の審理を了へ、目下上院國防安全委員會で審理中であるが純然たる法律問題を離れ政治問題化したため審議進捗せず國防委員會が何時本會議に報告し得るか今の所全然見當がつかない、憲法問題委員會及び權限調整委員會は何れもアマゾナス州政府の地權付與を以て違憲だとしてゐる關係上國防安全委員會が同樣の答申を爲すに於ては上院の大勢を支配し延いては邦人の既得權は全く崩壞するの惧れなしとしない、邦人[illegible]の山西、粟津兩氏より土地利權の讓渡をうけた上塚司氏は目下當地に乘込み既得權の擁護に懸命の努力を續け世論の喚起に努めてゐる、一方アマゾナス州政府は州の開發を促進する爲め聯邦上院に州の地權付與を承認すべしと決議し上院の反省を求めてゐる

臺灣軍司令部 條例を改正

航空兵團新設に伴ひ 八月一日から施行

【東京三十日發】陸軍では航空防空兵力充備のため曩に航空兵團司令部條例を制定し各師團隷下の飛行部隊を航空兵團の下に統轄し航空關係の統帥系統を一元化したがこれに伴ふ師團司令部條例、朝鮮軍司令部條例、臺灣軍司令部條例の改正をなし防空司令部令を改正し更に氣球隊の教育に關する件を制定し三十日官報で公布し何れも八月一日より一齊に施行することとなつた、要點左の如し

一、師團司令部條例第三條中の部下軍隊順序の項目より航空を削除し第四條の二において緊急の必要ある時は師團長管內飛行部隊を區處することを得る樣改正し尚若干の字句修正を見た

一、臺灣軍司令部條例第一條中の臺灣軍司令官の統率する部隊中より飛行部隊を削除し、第一條の二において緊急の場合は在臺飛行部隊を區處し得る樣改正した外若干の字句修正が行はれた

（他は略）

拓大の二學生 日暹提携の壯擧に

その途次、來臺

シャムの經濟事情を調査し學生の立場を通して日暹の親和提携に邁進せうといふ殊勝な目的で乘り出した三十日基隆入港バタヴイア丸にて二名の拓殖大學生が來臺した、兩名は直に出北本社を來訪したが、學校當局其他の方面でも此壯擧を扶け種々便宜を與へ、シャム國公使の在留有力者への紹介狀等も持參してゐた、右兩名は交々語る

この夏中休暇を利用し新興國シャムの經濟調査をしたいと決心し途中名古屋、大阪等でシャム國、[illegible]其他に就いて準備知識を得て來ました、同船で山口高商、[illegible]も[illegible]に入るのだと申され其意義に敬服しました、私共はシャムで八月から九月一ぱい位滯在研究し歸途に臺灣に立寄りたいと考へてゐます　之からは若い者が乘り出して行かねばいけないと考へてゐます

學生は三十一日午前五時臺北驛の同船にて出發する筈

簡易生命保險の 貸付內定額決す

【東京三十日發本社特電】遞信省で[illegible]される簡易生命保險積立金運用委員會第[illegible]年度第[illegible]回會議で[illegible]貸付內定額を決定した、臺灣關係の分左の如し

臺北州公立中學校十二萬圓、臺北州臺北市[illegible]五萬圓、同市道路九萬圓、臺北州新莊郡林口庄公學校十五萬圓、新竹州新竹市東街小學校（第二校）一萬二千圓、[illegible]

三井銀行會長 菊本氏引退

就任は萬代氏

【東京三十日發本社特電】三井銀行會長菊本直次郎氏は[illegible]明年九月の任期滿了を待たず來る九月の定時總會で引退する事となつた、後任には萬代順四郎常務が就任する筈

本日夕刊共十六頁

八月中に成案を得 調査會に諮問

內容は相當具體化

貴族院改革方針決定す

【東京三十日發本社特電】政府は前議會に於ける貴院の建議及び下院の決議に基き貴院改革、議員制度、選擧制度の三調査會を設置する方針を決定してゐたが、其後貴院改革案は政府獨自で立案來議會に貴院へ提出すればよいのであつて調査會を設ける必要はないとの意見が貴院方面に强かつたので、政府は一時調査會の設置を延期し貴院改革の具體案作製を調査局に命じた、依つて調査局では貴院を始め各方面の意向を參酌して改革案の立案を急いでゐるが、大體八月一杯には成案を得る見込がついたので九月に入つたら右政府の改革案を審議する爲めの調査會を設置する事に方針を決定した、この調査會に諮問される政府原案は[illegible]調査會に對する政府諮問の如く改革すべき要項のみを提示するのではなく相當具體的な內容を持つもので之が實行の可否を問ふとの形式をとる事となる模樣である

選擧制度調査會 第一回總會開く

きのふ首相官邸で

【東京三十日發】選擧制度調査會第一回總會は三十日午前九時首相官邸に開會、會長廣田首相以下各委員幹事出席先づ廣田首相より挨拶あり、諮問第一號

一、選擧の實績に鑑み選擧制度に就き改正を加ふるの要ありと認む、その要綱如何

と諮問、逐々質疑應答を重ね更に幹事會作成の參考資料を提示し次回は八月五日開催する事とし同十時四十五分散會した

選擧法全部に 綜合的改革か

潮內務次官言明

【東京三十日發】政府は三十日の選擧制度調査會で選擧取締りに關し潮內務次官から[illegible]選擧違反は[illegible]主義で臨む方針である旨を言明し更に今後は市町村會選擧及び府縣會其他等の選擧に際しても其の取締りは統一した法規の下に行ひたい意向である旨を述べた事は注目すべきで近く選擧法全部に亙る綜合的改革に着手するものと見られる

官有財產評價委員 きのふ任命

臺拓創立準備進む

臺灣拓殖株式會社に總督府より出資すべき千五百萬圓約四萬甲の土地を評價すべき官有財產評價委員會が[illegible]三十日付で發令された、會長は平塚總務長官が當り委員の顏觸れは左の通りである

內務局長	小濱 淨鑛
財務局長	嶺田 丘造
殖產局長	中瀨 拙夫
警務局長	川村 直岡
法制局第一部長	樋貝 詮三
會計檢査院部長	國原 忠二
拓務省管理局長	荻原 彥三
臺灣銀行副頭取	吉田 勉
勸業銀行理事	宮澤 孫吉
同	高橋 南

評價委員會 下打合

卅日長官公室で開催

三十日午前十時から長官公室で臺灣拓殖會社の政府出資に關する評價委員會の下打合會を開催した、一番ケ瀨殖產局長代理、小濱內務、財務局長代理、金融、商工、文書、地方各課長が出席、主として出資財產の選擇、提出書類等に關して協議を爲し午後十二時半散會

神戶市教育會 視察團渡臺

【神戶發電話】神戶市教育會主催の[illegible]視察團十二名は來る三日發蓬萊丸にて渡臺、東臺灣から西部へ臺灣を一周するが團員は凡て小學校長訓導である

督府辭令（三十日）

[illegible]臺灣總督府在外研究員を命ず十箇月間獨米の二箇國に在留すべし　[illegible]　苗加　[illegible]

主力艦を二隻 米も建造

英と對抗上

【ワシントン二十九日發同盟】イギリス政府がワシントン、ロンドン兩條約の兩期失效と共に三萬五千トン主力艦二隻の建造に着手するにつきアメリカ政府も近く主力艦二隻の建造を開始する方針と解される、即ちスタンドレー海軍長官代理は二十九日午後アメリカの方針を說明して次の如く述べた

アメリカは現行海軍條約失效後の情勢に對處する爲既に議會で主力艦二隻建造の權限を獲得してゐるがイギリスが愈々主力艦の建造を決定した以上對抗上アメリカも亦主力艦を建造する事は殆んど確實である、今秋建造契約を締結したいと思つてゐる、イギリスは既にエスカレーター條項を採用、[illegible]トン保有するに決定、海軍軍擴への拍車をかけたが英米兩國の主力艦建造で早くも建艦競爭が海軍國間に展開されると豫想される

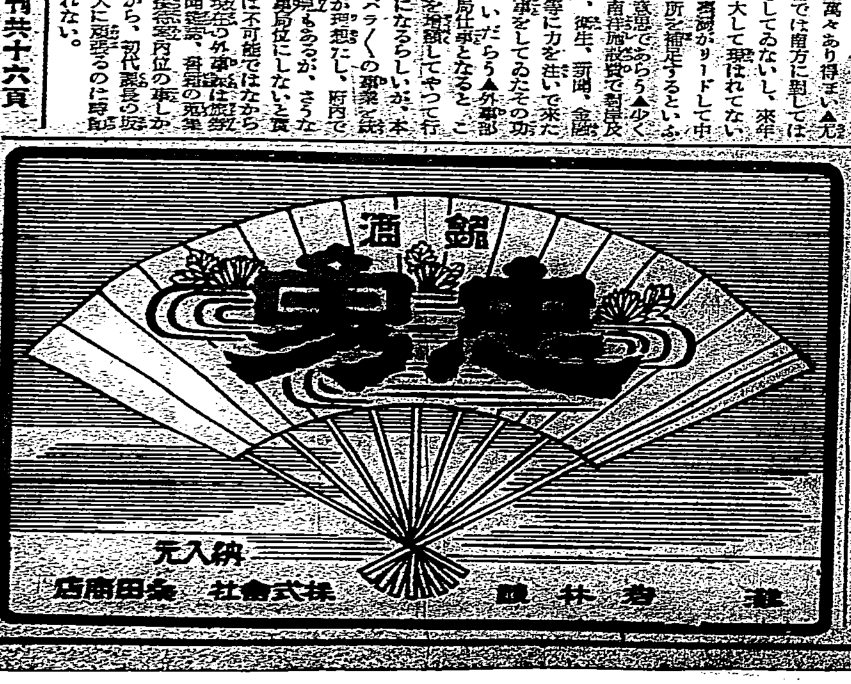
人事

▲樋口佐兵衛氏（京二製作所重役）三十日來臺（吾妻）

▲山本悉二氏（ボルネオ・タワオ病院長）三十日來臺（吾妻）

★シナチク★

所謂南進政策の一つとして東京に持つて行かれたものの中に總督府外事課の昇格案があり、之は南洋を踏石とする南方發展の[illegible]に乘つたものだから實現性がかなり多いらしい▲案の內容は現在の十二三萬圓の豫算を二十萬圓位に增額する程度であるらしいから事務官が一人位增える位で殆ど人件費、出張費程度のもので、これしきの豫算では大した事も出來まいがそれだけ難問も無いワケ、仕事の性質から外務省、拓務省、臺拓[illegible]とは[illegible]しはしないかと心配する向もあるらしいが、この程度ではそんな事は萬々あり得まい▲尤も外、拓務省では南方に對しては積極的に何もしてゐないし、來年度の豫算にも大して現はれてないやうだから、臺灣がリードして中央でやれない所を補足するといふのが督府の意思であらう▲少くとも例の南支南洋施設費で對岸及び南洋で學校、衛生、新聞、金融事業補助成等に力を注いで來ただけ其等實際仕事をしてゐたその功績は認めていいだらう▲外事部となつても結局仕事となると現在のバラバラの事業を統一して行くのが理想だし、府內でも這般の施設費を增額してやつて行かうといふ事になるらしいが、本當はこれ等の施設費を一本にする事もさういふ意見もあるが、さうなると結局は外事局位にしないと實際問題としては不可能ではなからうか▲とまれ現在の外事課は總督府の手足、外國新聞記者、各國の[illegible]、外人の接待等內位の事しか出來ないのだから、初代部長の候補者たるもの大に奮發するのに時節到來かも知れない。



銘酒 忠勇

灘 若林醸　株式會社 桑田商店　納入元

ダイヤモンド印 綿帆布 天幕シート

竹腰商店　[illegible]

合理化された三井の自轉車

新發賣高級車

メヤム　聯盟號　國榮號

島內各州廳配給所

（臺北・新竹州）千代田組

（臺中州）三和商行

（臺南州）捷輪商行

（高雄州）サカエ商事會社

（臺東廳）精輪自轉車店

（花蓮港廳）新高自轉車店

發賣元 三井物產株式會社

阿野金庫

まさかの時に役立つのは この金庫に限る！

長谷川商行

牛澤幸三郎儀 [illegible]

久保家具店

御願 [illegible]

牛澤幸三郎

[illegible]に聴く……⑨

一、新財源調達の途如何（時節柄新税、增税は何が適當か）
二、臺灣拓殖會社に對する希望
三、ボロ儲けと大損物語（實話に限る）
四、私の感謝と不平（臺灣生活に於ての）
五、私の座右銘、健康法、趣味、好きな人物

中研　中澤亮治

一、財源調達　適當の方法により彩票を實行する事

四、感謝と不平　我、臺灣の自然物を見て居た我々內地生れのものに取つて臺灣は實に驚異の的である二十五年住み慣れた臺灣であるが今猶新らしきを感ずる若し夫れ人工を加へた天然物の豐富さを考へると茲に又一層の感激がある

右述べた故に臺灣は我等の新天地であるが故に內日本に於て脫却を希望して得ざりし社會萬事の惡習陋俗は斷然此の地に於て離脫して社會事相を新立し明朗の新天地を建設すべきで無からうか

然るに我々の葬儀等の際にかける習慣は如何であらうか大に改善を加へられ流石は新天地と云はれる現在の有樣であらうか何人も其惡弊、迷信的をかこちながら改良し得ぬのは如何なる理由であらうかこれが內地であれば「理窟で通らぬ元老院」が社會のどの處にもあるのであるが我臺灣には夫れが無いのであるから改良しようとすれば比較的容易な事と思ふ故に小生は常に云ふのである「社會改良は植民地より」と

五、イ、平生戰場、戰場平生
ロ、規則正しき生活
ハ、自然物の觀察及水泳
ニ、田中館愛橘先生

臺北　重田榮治

一、財源調達　新税も研究し盡され當局に於ては公社債の利息も產業組合法による收入も其他凡て收入は綜合して課税するの止むを得ざらん

二、臺拓への希望　拓殖會社所有土地は內地移民に耕作せしめ其土地は安價なる年賦償却法により拂ひ下げ以て移民の永住を圖る事其他移民には砂金採取の如きも自由許可を與へ副業たらしめ其指導取締を拓殖會社に徹底せしむる事

三、儲けた話　話は古いが明治三十八年日露戰爭中バルチック艦隊東洋接近の際には本島山間部落に於ては臺灣の紙幣を持ちて居るより綿布の如き品物に代へ貯藏し置くの傾向ありて入荷品は即時に賣切れとなり思はざる商賣繁昌をし利益を得たる事あり其後世界大戰上海事變滿洲事變を經て此の大時局に際し當時を回想すれば實に感慨無量なり

四、感謝してゐる不平なし

五、イ、自他に係はらざる事に努む
ロ、安眠
ハ、山岳と雲霞の風景
ニ、寺內壽一

臺灣島　田端幸三郎

二、臺拓への希望　國策會社と銘打つ以上は利益などは眼目とすべきでない、殊に本事業は誠に困難な事業と思はれるから當初の間は官民共に全く目先の利益にはやつてはならぬ、政府としてもその出資に對し配當を貰はうといふやうなケチな考へは持つてもゐまいが、それよりも寧ろ積極的に五十萬圓、百萬圓とドシドシ補助金を出し大いに本事業を助成すべきであらう、また南支南洋方面に手を延ばすことは非常に困難とたやすく口にするけれども此の點なことで、餘程愼重に考へて貰はねばならぬ、詰まり實行に困難な下調査の上でなすべく先づく島內の事業を治めてからの話である

臺北　田儆吉

一、財源調達の途　事情の如何を問はず、優然たる增税、新税は當を得て居ない、須く各別內に使途と何年計畫にて、急を要する、其の事業を完成するのか、完成と共に增税又は新税を打切るかを明示すれば、事と次第に依り增税及新税の方法はある

二、臺拓への希望　臺灣に對する限りに於ての開墾農業は勿論其の外等には成るべく母國民に願ひたい、臺灣の內地人を二百萬人位に早くしたいから

三、大正九年のパニックに御客樣が約定品を履行して呉れぬので大損をさせられたが、人には一錢の迷惑も掛けなかつた大儲も大損も皆「人か」させるものだと感じた

四、感謝と不平　明治四十三年五月渡臺以來、壯健なる事に對し、神佛の御助力と誠に感謝して居る誠一つ四十年後の今日あまりにも母國民の少いのは、何よりの不平である

五、イ、努めて多くの人に利用されること、後で小言を言はれぬ樣にすること
ロ、每日自己流の體操を五分間やる
ハ、經濟學說を讀む事、ザル蕎
ニ、兩親

花蓮港　梅野清太

五、私の
イ、座右銘。三省吾身
ロ、健康法。未明起床、一時間ばかりの散步
ハ、趣味。ゴルフ
ニ、好きな人物。政界では永田秀次郎氏、實業界では小林一三氏

中研農業部が黄麻の早期栽培

アンバリヘンプ栽培も研究

其成績期待さる

ジュートの自給策

本島は栽培に適し

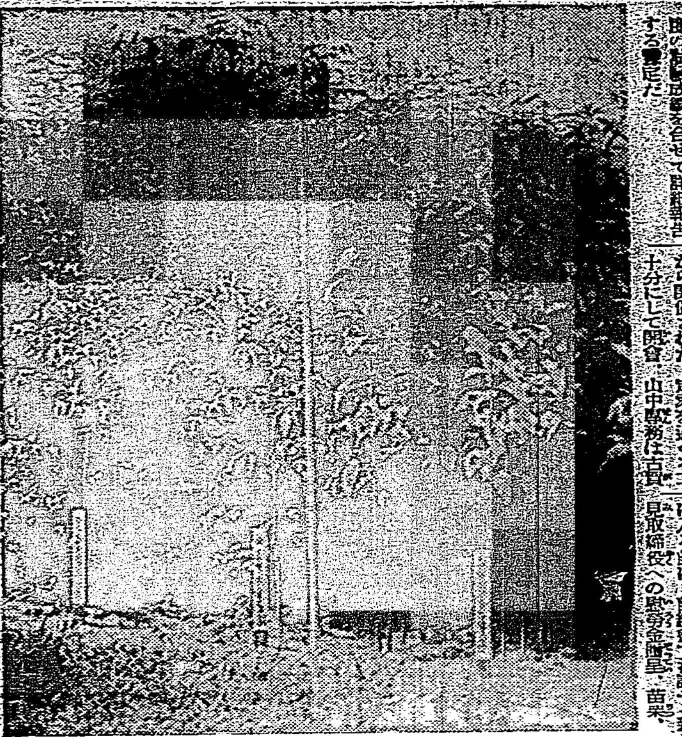
ジュート即ち黄麻は包裝品、又軍需品用原料として國內自給の切望されてゐるものであるが、之に對しては內地は栽培に不適であり僅か自家用に植ゑられてゐる程度である、幸ひ本島は栽培に適し本島敵作物中作付面積が第一位に在り本島にかけるジュート生產の發展が期待されて居るのであるが、その生產現況を見るに昭和七年迄に三、〇〇〇甲步に充たなかつた作付面積が水稻代作奬勵により昭和十年には一萬七、〇〇〇甲を突破するに至つてゐるとは言へ國內自給自足には遠く及ばず、他作物との對抗上その發展の見るべきものもない之に對し中研農業部では黄麻の早期栽培による輪作關係に於て黄麻栽培を有利に導くと共に、黄麻代用品たるアンバリヘンプの栽培によるジュートの自給策に對し試驗研究の所その實績を得たるものの如く、之につき中研農業部安藤博士を訪へば語る

未だ試驗中であるが、何れ本年度の試驗成績を合せて詳細報告する豫定だ

黄麻の早期栽培は、從來の黄麻では收穫期が多く八月以後であり、この收穫期を待つて收穫するとせば後作水田に於ては二期作の植付に差支へることとなり又後作を適期に植付けんとすれば黄麻を早めに收穫する必要があり、このために收量、品質共に劣つて來る、之が黄麻栽培の普及を阻害するものである、之れに對し當部に於ては品種の特性と自然環境條件との關係に對する研究を行ひその理論は既に發表せる所であるが、その中最も顯著な事實は本島の自然條件に適ふべき早生品種の選出であつた、本年之等の品種約一〇品種につき四月五月植として栽培した所、何れの品種も六月下旬乃至七月上旬には收穫適期に達して二期作水稻の植付に充分間に合ふことが出來、從來の栽培品種の早期收穫による收量減少の程度を低め且つ纖維の脆弱を防ぐことが出來たのである、その何れの品種が最も適してゐるかについては詳細な比較を俟つて決定したいと思つてゐる

アンバリヘンプについては、その纖維は黄麻の纖維と殆んど同じであつて同じくジュートとして取引され利用されてゐる、即ちアンバリヘンプの栽培普及はジュートの生產となるわけである、このアンバリヘンプに關する試作は當部に於ては既に昔から行つて來た所である、此際黄麻と比較試驗を行つた所、調製麻（黄麻紅皮種一〇〇に對しアンバリヘンプ、マドラス紅種一六〇）その他一、二の小さい缺點はあるが、黄麻に比し收量多く且つこの作物は黄麻が生育中常に豐富な水分を必要とし土地を選ぶに比し比較的耐旱性強く土地を選ばないものであるから栽培が容易であり黄麻を栽培し難き所に栽培を見ることが出來るのである

以上二つのことは、即ち黄麻の栽培を有利ならしめその栽培面積を擴大せしめると共に、新作物アンバリヘンプの栽培を圖つてジュートの增產自足を期すわけとならう



（寫眞の右半分は生育中の早生黄麻、左半分はアンバリヘンプ）

古賀頭取以下重任と決す

新見氏は監査役に復活

波瀾にも至らず商銀總會終る

（二十九日臺北電話）病中の古賀頭取以下四重役の改選といふ上で議論に社會の耳目を集めた商工銀行の上期總會は三十日午前十時二十分から開催された、定刻を過ぐる二十分にして開會、山中專務は古賀頭取病氣缺席の故を以て議長席に著き出席株數委任狀共で五百六十名六萬五千三百九十一株に達し定數超過總會成立の旨を宣し、議事に入る前に、前總會で決議せる新見取締役への慰勞金贈呈、苗栗、鳳山兩支店の不祥事件、臺中市役所との經緯及び增配折衝の經過等を述べ次で當總會の核心と見られる古賀頭取の病氣經過に言及し此程頭取の側近者より

「現在の病身を以てしては今後假に快方に向ふとしても到底頭取の重責に堪へ得ぬであらうから適當の後任頭取を得次第退職せしめたい」

との申出あつた旨を報告し、議事に入らんとせば、古屋株主議長を呼び

▲古屋　新見氏が慰勞金を受理したやうに言ふがその理由と經過をもつと詳しく知りたい

と要求山中議長之を受けて

實は株主の總意を諒とした總會の決議によるもの故是非嘉納受理願ひたいと再三促したが同氏は自分が重役として在任中不祥事件もあり之を受けることは內心忸怩たるものありとて頑强に拒否され今日に至つたものである然し何とかそれを受けて貰ふことに努力するつもりだ

と陳述、小林株主[illegible]か、責任と慰勞金受理とは別ものなればと同氏に受領を促し、難波氏其他も同意見を述べて新見氏は之に感激結局之を受ける旨述べて滿場拍手、次で議事に移り第一、第二案を一括上程、大山監査役之が內容の適當確實なるを報告して質疑に入れば新見氏は滯貨償却の增加內容につき糾し、利益金の社內留保に關し意見を述べ、山中議長は先般大藏省檢査官より新たに指定を受けた分もありと辨明に努め次で古屋氏

先刻議長は苗栗、鳳山事件が公判中の故を以て內容言明を回避されたが、右による銀行の損失と、經理上の處置を伺ひたい、苗栗事件が解決せぬ內に又鳳山事件が勃發するなど株主としては不安に堪へない

▲議長　經理上の處置は一般銀行の事例に從ふもので何ら不都はない、損失見込は苗栗十一萬圓、鳳山三萬圓程度と推算する

右終つて吉岡株主、質疑も盡きたればと上程案を承認可決したしと述べ（第一號）與議無く可決、最後の第三號案重役改選案に移れば、小林株主起つて

先般議長が披露せる古賀頭取の辭意云々は、本人は意志表示不能と察するが一體誰が、何時如何なる形式によつてなされたものか明言されたい

▲山中議長　二十六日私が古賀頭取邸に招かれ、頭取の息武德氏令弟强朗氏、令夫人千代子氏三名同坐の內に於て私に表明されたものである

▲古屋氏　重役改選を前にして心得ておきたいが、第五十期總會で中辻議長が不祥事件については全重役責任を取ると言明されたと記憶してゐるが、今回の不祥事件に關し重役各位の心境を承りたい

山中議長は之に對し決して責任を回避する所存に非ざる旨を述べ、依つて徐氏、小林氏らより新見監査役を此際是非重役列に復活願ひたいと希望之に贊する者多く結果新見氏を任命するとの條件付で改選方を議長一任とし、山中議長は即座、取締役に古賀、藤原、蔡、徐の四氏重任、監査役に新見氏を指名滿場拍手裡に議事を終り同三十分大した波瀾にも至らず散會した

右の結果、同行創立以來の大先輩なる大山常任監査役は任期滿了に依つて引退し新見氏に席を譲ることとなつたが新見氏は普通監査役で常任監査役ではないとの由である

商銀の利益處分

配當三分据置

一金百九十九萬四千三百二十六圓　當期總益金
一金四萬一千六百四十二圓　前期繰越金
一金一萬四百十九圓　行員退職慰勞基金戾入
計金二百萬六千三百八十七圓
一金百八十二萬二千八百十一圓　當期總損金
差引金十八萬三千五百七十五圓　當期利益金
之を處分すること左の如し
一金二萬圓　法定積立金
一金一萬五千圓　損償積立金
一金二萬圓　新築資積立金
一金二萬圓　別途積立金
一金一萬一千圓　行員退職慰勞基金
一金六千五百圓　役員賞與金
一金二萬八千八百四十七圓　配當金（年三分）
一金四萬二千二百二十八圓　後期繰越金

島內製糖工場の電化傾向漸く顯著

本年は分離機のモーターが百二十六臺も購入さる

バガスの利用價値高まると共に各製糖會社ではバガスの將來に深く思ひを馳せ少くとも補助燃料たる石炭を要せぬ程度を

第一目標

とし進んで無水アルコール、人絹其他の工業原料に振向けることを理想とし甘蔗の如きも收量、步留共に高く且つ纖維の多いエフ一〇八號を一時も早く增殖普及して燃料費の節約を圖らんとしてゐるが、此の目的達成の爲めに製糖工場の電化は最も必要であるとし期せずして各社共製糖機械の增設部分に對し電化裝置を行ふことになり各社が購入せる

分離機のモーターだけ

でも昭和九年の三十二臺、十年の三十臺に對し本年は實に百二十六臺の多きに達し此內臺南製糖六十七臺、明治製糖三十五臺、鹽水港製糖二十四臺、新興製糖二臺で右の內百十四臺は安川電氣製作所の製作に係るモーターでその臺灣代理店たる山下商店が納入することになつてゐる、右の外遠心唧筒、電解も大型ポンプも從來蒸氣による動力に頼つてゐたのを[illegible]

製糖工場

[illegible]すべきである、日糖虎尾第二工場は昨年耕地白糖裝置を加ふると共に可なり大きな發電室を設け或程度まで電化する事になつたが、目下建設中の鹽水港第二工場や臺糖三崁店製糖所の耕地白糖裝置も一部電化する事になり又能力擴張工事中の昭和の玉井製糖所は更に進んで殆ど全部を電化するなど非常な

新機軸を出してゐる

が、製糖工場が增設擴張を機會に自家發電を以て漸次電化して行く風潮は正に時代に適合するとは云へ一つはバガスの將來を重視せる爲めではないかと云はれてゐる

福州の臺灣籍民新事業に曙光

旅館と質屋經營が增加

【福州特電員發】福州に於ける臺灣籍民の新事業として旅館、質屋が著しく增加を來した、旅館は從來治外法權を濫用して賭博、阿片密賣等を兼營する傾向があつて帝國總領事館に於ては嚴重なる調査を遂げなければ營業を許可しないため現在は大東（劉水發）閩東（林英、黃六、七）[illegible]の三館だけで皆相當い營業振りを示してゐる、質屋は全く本市の不景氣と金融逼迫より產生した社會情勢に應ずる唯一の中、小民營の金融機關である、元來福州の質屋は大富豪又は財閥の獨占する營利事業で入質期間は十八ヶ月乃至二十ヶ月[illegible]員に職民を救濟するに足らないだけでなく、營業者は流質品の保管に多く、且つ流行品の變化甚だしい現在三十ヶ月も經過した流質品は既に時勢に合はないので買手も少ないため非常な損失を蒙り、半分位は閉鎖し、現存の質屋も充分經營して居るので救濟に不足を與へることが出來ない、そこで臺灣人等はこの需要を見透かし入質期間二ヶ月にして利息は少し高いけれども入質率は少くても[illegible]以上營業時間も日の出より夜間九時頃までの所謂小質屋を一番最初に經營し[illegible]成績も案外に良好で、中小商工業者等も又質屋を當てにこれを利用する者が日に激增し[illegible]利潤を得てゐる、今回之ら十四軒は福州典當同業組合を組織し既に帝國總領事館の認可を經て先日盛大なる成立式を舉げ役員選舉の結果

組合長　黃江
幹事　林演、陳約伯、黃反生、柯保羅

等である、右組合各質屋は臺灣の外金融補助を以て日華提携にも貢獻するところ少からざるもので南支南洋拓殖の盛高い今日これら營業者を後援し發展する道を講ぜられるやう關係當局に希望してゐる

臺南、嘉義市街地信組業績

【臺南電話】臺南、嘉義兩市街地に於ける信用組合の本年六月末に於[illegible]る營業狀態を見るに貸付總計四百九萬三千九百四十一圓にして前月末の三百六十一萬六千百六十一圓に比し約四十萬圓の增、貯金は五百五十八萬九千七百四圓にて前月末の五百十四萬五千六百二十四圓に比し約四十五萬圓の減、還金は二百十五萬一千六十一圓にて前月末の二百二十萬一千九百三十七圓に比し五萬圓の減少を示しそれだけ利用者の增大を示してゐる

料花業者が協會を創立

製茶業者との重視さる

[illegible]一部を勤めてゐる臺北州下料花生產又は販賣業者は兼ねてから臺北州料花生產販賣協會なる統制團體を組織中のところ創立に關する一切の準備が終了したのでいよいよ來る一日午前十一時から江山樓に於て創立總會を開き種々の要項を協議することとなつた[illegible]の健全なる發達を期待されるところは多いされてゐるが從來商業道德協會の存在い一部業者がつまらない割引や過激[illegible]その他商品間に種々紛糾を惹起し[illegible]同協會成立後に於ける同業者製茶業者との關係が重視されてゐる

東西南北

きのふの商工銀行株主總會は病頭取以下四人の頭取重役の改選が世の注目をひいて、之をいかに取運ぶかに興味は集つたが事前工作？が奏効してか、蓋を明けて見ると案外平穩裡、勇士も見あたらず▲古屋、小林、新見氏らの言葉は相當迫るものがあつたが頭取問題には先手を打たれて之以上喰入る氣力を殺がれ又各地支店の不祥事件鎮壓の如きも山中專務の人を喰つたやうな態度ぶりが奇妙に議場の空氣を緩和して、ヘナヘナに氣を抜き互ひに苦笑で終つたとは大儲けだ、山中氏にとる者あの答辯もその手の一つだとせば惜々以ての老巧さだと言はねばなるまい▲新見老の重役復活は株主の總意であるが、あの直情徑行のところ、監査役には惜し適任といふべきか▲あの際でひとり氣を吐く役だつたのは大山老で常任監査役の職が自然消滅となり勇退のこととなるが同氏は商銀創立以來の大先輩で高雄、臺中、嘉義の支店長を經て本店監査部長を經、現職に轉じてから今日迄八ヶ年、同氏が青年時をアメリカに飛出し二十歲位を自由に過した話は南北子も一度紹介したことがあるが、氏の晚年はその昔ともされ本年古稀に達するも顏は五十臺としか見えず、この若々しい姿を[illegible]であるが

珊瑚資金の利率一厘方引下げ

水產會に對し臺銀の讓步

（臺北電話）臺灣銀行から融通しつつある珊瑚資金（限度十萬圓）に對する利率低下の交涉は臺銀としては最早や考慮の餘地がないといふので不調に終つたものの如く思はれたが臺銀側の再考の結果一厘方引下げて日步一錢二厘に低下すべきことを通告して來た、即ち臺銀としては一應は水產會側の申込みを斷つたが、考へて見れば之は國家的の產業であり、當業者としても品物を持越すためにはどうしても低利の資金を必要とする事情が明かとなつたので、例の米穀統制に伴ふ籾貯藏資金と同樣な趣旨に於て利率の引下を斷行したのである、之により水產會としても當業者にこの資金を引繼ぐ際の利率（臺北州では一錢八厘）を相當程度引下ぐべく目下考慮中である

烏日の蔗作奬勵

籾價比準奬勵金を引上げ

日糖烏日製糖所の十二、三年期甘蔗栽培奬勵規程の要項を摘記すると原料買收價格は二圓に割增金八十錢を加へて三圓八十錢とし前期より三十錢方引上げたる外、植付奬勵金を次の如く交付することになつてゐる

	甲當
七月迄植（畑に限る）	六〇圓
八、九月植	四〇
十、十一月植	三〇
十二月以後植	一五
畑株出	一〇
水田株出	五〇

右の內十二月以後植迄は前期と同じであるが、株出しに對しては前期甲當十圓一本だけであつたのを本期は畑株出には十圓、水田株出には五十圓交付する事に手加減してゐる、右の外會社の適當と認める畑甘蔗奬勵金を交付するが、又會社指定の栽培法によるものに甲當[illegible]

水田集團奬勵金は

	甲當
二甲以上	四〇圓
五甲以上	同　五〇
十二萬斤同	三〇
十五萬斤同	三五

を交付すること前期と同じであるが向水田蔗作に對しては蓬萊籾の價格に比準し次の通り奬勵金を交付することになつてゐる

籾千斤價格	千斤當奬勵金
五〇圓以上	五〇錢
五二圓半同	六〇
五五圓同	七〇
五七圓半同	八〇
六〇圓同	九〇
六二圓半同	一、〇〇
六五圓同	一、一〇
六七圓半同	一、二〇
七〇圓同	一、四〇
七二圓半同	一、六〇
七五圓同	一、七〇
七七圓半同	一、八〇
八〇圓以上	一、九〇

【備考】籾の價格は臺中米穀檢查所に於て調査せる昭和十二年七月及十一月の平均價格による

前期は籾價の最低を四十五圓未滿（奬勵金千斤廿錢）最高を七十圓以上（同一圓四十錢）とし十二通りに區切つてあつたが本期は最低を五十圓以上（奬勵金五十錢）最高を八十圓以上（同一圓九十錢）とし十三通りに區切る尚米價の位置を考慮し特に耕作者の立場を有利に按配してある、原料蔗奬勵金は前期通り千斤二十錢以內を交付し耕作資金は第一回に田甲當五十圓以內畑三十圓以內を貸付け第二回は第二回蔗調終了後甘蔗の出來榮を參酌し適宜融通することになつて居り利息は月五厘とし前期より二厘方引下げてゐる

臺灣製紙總會

一割配當可決

臺灣製紙會社は二十日午前十時より本社で第二十四期定時總會を開催、取締役馬渡善夫、監査役郡松林の同社で[illegible]支配人金城政局諸氏を始め出席株主委任狀共二十三名、此株數四千三百九十六株（總株主五十九名、四千八百株の內）に達し後宮社長不在に付馬渡取締役代つて議長席に著き本年上半期の營業概況報告其他を承認次の利益金處分案（配當年一割据置）を可決し十時十五分散會した（單位圓）

當期利益金　二〇、二四七
前期繰越金　一〇、〇六九
合計　三〇、三一六
內
法定積立金　三、〇〇〇
特別積立金　四、〇〇〇
役員賞與金　一、〇〇〇
株主配當金（年一割）　一二、〇〇〇
後期繰越金　一〇、三一六

當期は內地における新設置に增設[illegible]會社の製品市場に現はれボール紙の市價低落昭和六年以來の新安値を演出したが同社では專ら海外輸出の進展に努め內地移出の不振を補うたけれども一面米價高による地方農村の好況は延て原料高、勞銀高を誘致したると共に期初頭に於ける未曾有の雨天續きは原料の蒐集及製品步留りに多大の影響を齎らし製造數量の減少となり製品稍低下したが前期に引續き年一割配當をなすを得た、幸に本年一期米の好收と共に今期買收の原料（藁）は品質良く步留良好であるから生產費は幾らか低下すべく目下ボール紙の入註多く之が製造に忙殺せられてゐる

商況（三十日）

島內米肥

臺米現物相場

	基隆五日渡百斤當	前日對比
南部一期在來米	九六三	二安
北部一期蓬萊米	一〇七五	二安
中部一期蓬萊米	一〇九〇	一高
南部一期蓬萊米	一〇六三	三高
北部一期丸糯米	九八九	二安
中部一期丸糯米	九九〇	三安
南部一期丸糯米	九六八	二安

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

正米市況後場

[illegible]

島內肥料相場

現物基隆倉渡
大豆油粕　一圓七六錢
同　一〇圓二〇錢
內地硫安　九圓一〇錢
過燐酸（七貫五入二五％）[illegible]
硫酸加里四八％　一圓四〇五錢

臺中米價（三十日）

蓬萊米一〇圓八七錢、出來高蓬萊米三二、〇二四袋、在來七六四袋（臺中取引所）

期米

大阪期米後場

[illegible]

東京期米後場

[illegible]

神戶期米後場

[illegible]

堂島兩建控除俵合

[illegible]

堂島前場先限主なる手筋

賣方　海堀、中東筋、正米筋
買方　中東筋、岡政、越後筋

堂島前場先限兩建控除主なる手振

賣方　北川三、五〇〇菅理二、六〇〇海堀一、九〇〇田中金一、七〇〇木村一、三〇〇埔辰、工段一、一〇〇森岡九〇〇文和七〇〇
買方　田中龍七、二〇〇澤先三、八〇〇水野一、七〇〇藤岡八〇〇

堂島米況前場

【大阪三十日發】納會に直面せる當限が利喰頓挫に二十九丁方大下放れせるより先も六丁安の三十二圓二十二錢と寄り中京筋買に四十二錢と伸び三十九錢と一息して止めた

堂島米況後場

【大阪三十日發】當限落後の二限立會で先は中東筋買に三十二圓四十二錢と三丁高に寄り東京筋買に五十錢から五十六錢あり六十三錢と暴騰して大引

堂島雜觀

【大阪三十日發】天候好轉を確はれ納會直面の當限が値崩み關係から新規に渡し方現はれ形勢急化買方の利喰賣輻輳後冬々當限は二十九丁方の大下放れを演じ中先も[illegible]が優勢に突發せ各限共一齊下落つたものの中東筋の採算買と地場の小賣的買進みに軟派の戾り待賣も利かず七向きしが當限は中京筋の反抗的買も響かず大きな動きを見せなかつたが受渡數量が僅々二萬二千石足らずで各地も夫々少量で受渡であること判明したので後場では之を好感して三十一圓六十錢臺へ躍進した

大株雜觀

【大阪三十日發】目先筋物一巡と月末關係と相俟ち此のところ逆張的小賣人氣稍々濃厚ならんとし不透明保合商狀を持續しセメント株は小野田との紛爭解決に業界安定を好感見らんとなり他は東京の無活況に[illegible]人絹物は二品の不勢に一齊安く紡株には神戶筋賈があつて小堅く日產にはヤレ〳〵賣圓滿されてゐた、要するに手で商作柄場は漸次改善の兆あり強株には物取引所株には戾り賣の軍需力あつて兎角閑軍く全般的には橫這的保合を示さん時樣である、寄引跡氣配は東新百二十一圓、日產七十八圓七十錢所を唱へてゐた

東京株況前場

【東京三十日發】十限りとなるべき材料もなく旁々市限表の立會であるので若干整理の延長と云つた場面で午九保合に終つた、長期新東株は何れも保合で入絹株は三四十錢方引緩み砂糖株も軟弱含みでその他も概ね小動きでこの間短期の新東は百二十三圓七十錢と二十錢高に寄附安と區々に大引、短期の新東株は二十二圓八十錢を高値に下押しの二四十錢高に附けた

東京株況後場

【東京三十日發】受渡準備で長期後場休會の雷同でに大阪短期以下全般的に低調商狀を呈し同期新東株は概ね凡て標實的に小消極的に脫を呈し反力に富んでゐるものは伸り難い買氣を誘ったのである、短期、新東株の姿安の二圓五十錢迄下押し形勢頗る面白くなかつたに反し鐘株は依然押目買侮り難く特に日產系諸株の再硬化が注目された

株式

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

絲況

橫濱生絲

[illegible]

穀肥

神戶豆粕

[illegible]

神戶市中相場

[illegible]

大連特產前場

[illegible]

爲替

臺銀建値

[illegible]